

一九「シムリア」及東支兩鐵道管理ニ関スル件 六八九

time, in any practical way, with a view to con-
serving the railway and assuring efficient operation
in the interest of all concerned. I avail etc.

八二〇

日本外交文書 大正十一年 第一冊 終

附録 日本外交文書 大正十一年 第一冊 日附索引

大正十一年(西曆一九二二年) 第一冊 日附索引

一月

事項番号 文書番号

電信
番書信
番号

頁

一五	二九八	一月一日	一六	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松村総領事宛(電報)	親米政權ヲ浦潮ニ樹立セントノ米国人ノ策動説ニ関シ取調方訓令ノ件	三九五
一一	二二〇	一月三日	通移公一	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	イグアベ殖民地ノ土地代値上及州税免除期間延長ニ関スル法律案州議會通過ノ件	二九〇
				附屬書一	マレー、ジユニオール氏反對演説訳文	二九一
				二	政府財政委員ノ説明演説訳文	二九一
				三	右法律案訳文	二九二
一六	三六〇	一月三日	合七三	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本側提出ノ文書ニ対スル極東共和国側ノ回答口上書受領ノ件	四四五
				別電一	同右電報合第七四号	四四五
				二	同右電報合第七五号	四四六
一六	三六一	一月四日	合七六	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	反過激派勢力ニ対スル日本側ノ援助問題ヲ繞ルベトロフトノ応酬ニ付報告ノ件	四四六

一〇	二二〇	一月五日	四	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	北部開発ノ為有色労働者ヲ移入スヘ シトノ南濠州首相発言ニ関シ報告ノ 件……………二六一
一三	二六八	一月六日	一〇	在仏国佐藤臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	莫斯科中央執政委員会歐洲諸国ト行 フベキ交渉ノ基礎条件ヲ定ムル委員 会ヲ組織ノ件……………三六六
一九	六五七	一月六日	機密軍政 送一	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛	日本軍ノウスリー鉄道運行干渉問題 ニ関スル件……………七五七
一〇	二二一	一月七日	五	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	白濠主義ヲ攻撃セルスウイング教授 電報ニ関連シ当地方新聞論調報告ノ 件……………二六一
一六	三六二	一月七日	七三	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	華府會議極東共和国代表ガ日仏密約 説ノ虚報ヲ流布シ居ルニ付ベトロフ ニ対シ嚴重警告ヲ行フ様訓電ノ件 ……………四四七
一八	五九一	一月七日	公表一	外務省公表	極東西比利亞ニ於ケル日本軍ノ行 動、日本政府ノ態度ニ関スル虚偽ノ 宣伝ヲ反駁ノ件……………六九九
一六	三六三	一月九日	七四	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	ベトロフノ誹聴カセタル文書ニ付回 電方ノ件……………四四八
一六	三六四	一月九日	合七七	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議妨碍ヲ意図セル反過激派勢 力ノ工作ニ付ベトロフノ弁明報告ノ 件……………四四八
一六	三六五	一月九日	合七八	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮要塞問題ニ関スルチタ政府宣言 案ニ付報告ノ件……………四四九
一六	三六六	一月九日	四六	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	労農政府及大連會議ニ対スル日本ノ 態度ニ関シチタ政府ノベトロフガ島 田副領事ニ語りタル件……………四四九
四	六三	一月十二日	六	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	加州外国語学校取締法施行後ノ模様 大要査報方ノ件……………七五
一六	三六七	一月十二日	四九	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ベトロフノ誹聴カセタル文書内容回 報ノ件……………四五〇
一〇	二二二	一月十四日	九	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	有色労働者移入ニ関スル南濠州首相 発言ノ反響報告ノ件……………二六二
一一	二二一	一月十四日	一	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	サンパウロ州珈琲耕地行日本移民ニ 対スル補助契約不更新ノ件……………二九三
一五	二九九	一月十四日	合一四	内田外務大臣ヨリ 在奉天赤塚総領事 各宛 華盛頓會議代表 宛(電報)	天津発哈爾濱ニ向ヒタルセメノフガ 浦潮派遣軍行動地域ニ出入スル場合 ノ同軍ノ措置ニ関スル件……………三九五
一六	三六八	一月十四日	五一	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国ノ提議ニ対スル日本側ノ 回答督促ノ件……………四五一
一三	二六九	一月十五日	六	在チェッコスロヴァキア國長 岡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チェッコスロヴァキアノ労農露國ト ノ關係ノ近況ニ付報告ノ件……………三六六
一五	三〇〇	一月十七日	一五	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	親米政權ヲ浦潮ニ樹立セントノ米國 人ノ策動説ニ付取調ノ結果回電ノ件 ……………三九五
一五	三〇一	一月十七日	一六	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	後貝加爾方面ヘ出馬ノ為天津ヲ出発 セルセメノフノ動向ニ関スル浦潮政 府筋ノ意向報告ノ件……………三九六

一六	三六九	一月十七日	七八	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中)宛 (電報)	極東共和国側提出ノ口上書ニ対スル 日本政府ノ回答訓電ノ件	四五一
四	六四	一月十八日	一四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州外国語学校取締法施行後ノ模様 大要報告ノ件	七五
三	二五	一月十九日	一五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	収獲契約試訴ニ於ケル原告勝訴ノ判 決ニ対シ検事総長ガ大審院ニ上告準 備中ノ由報告ノ件	四九
一一	二二二	一月十九日	三	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	サンパウロ州珈琲耕地行日本移民ニ 対スル補助中止ニ関連シ州統領談話 報告ノ件	二九四
三	二六	一月二十日	二二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	収獲契約試訴判決ニ対シ検事総長大 審院ニ上告ノ件	四九
一六	三七〇	一月二十日	合八〇	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本政府ノ回答書ヲベトロフニ手交 及彼我意見交換ノ件	四三三
一〇	二二三	一月二十三日	公二〇	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛	有色労働者移入ニ関スル南濠州首相 発言ニ対スル当国官民ノ反応及之ガ 観測報告ノ件	二六二
三	二七	一月二十四日	公二四	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛	加州外人土地法試訴上告裁判ニ対ス ル加州日本人会ノ方針決定ノ件	四九
一一	二二三	一月二十六日	機密二	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	サンパウロ州珈琲耕地行日本移民ニ 対スル補助契約不更新ノ件	二九五
一一	二二四	一月二十七日	四	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田総領事宛 (電報)	応募契約済移民ニ対スル補助継続方 交渉ノ件	二九九
一六	三七一	一月二十八日	合八一	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本側ノ申出事項其他ニ付ベトロフ ノ島田ニ対スル談話報告ノ件	四五五
一一	二二五	一月三十一日	通移機密 一	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田総領事宛	移民保護上新着移民ノ配耕ハ事前ニ 総領事館ノ認可ヲ受クベキ様改善方 ニ関シ回訓ノ件	三〇〇
一九	六五八	一月三十一日	三七	附屬書一 浅田東洋移民合資会社社長提出請書写 二 竹村殖民商館主提出請書写 在奉天赤塚総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鉄道ノ共同管理案ニ関シ張作霖 ノ反対意見報告並同案阻止方ニ付稟 請ノ件	七五九
			附記	二月四日在ハルビン渡辺技師発鉄道次官宛電報第二七号 東支鉄道保全策ニ関スルソ聯人重役ノ談話		七五九

二 月

一八	五九二	二月二日	五八四	華府會議代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西比利亞ニ於ケル日本陸軍ノ行動ヲ 非難スル在華盛頓露国大使館ノ新聞 記者ヘノ声明ニ関スル件	七〇〇
----	-----	------	-----	-------------------------	-----------------------------------------------------	-----

八 一〇〇 二月三日

閣議決定

大正十一年度露領沿岸漁業対策ニ関シ請議ノ件……………一一五

附記一 大正十年十二月二十日附閣議決定……………一一七

二 大正九年十一月三十日附閣議決定ノ要旨……………一一九

一六 三七二 二月六日 七九 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………四五六

一一 二二六 二月七日 六 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)……………三〇一

一三 二七〇 二月八日 一七 在波蘭国川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三六八

九 一七〇 二月九日 五 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一九三

一一 二二七 二月九日 四 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三〇二

一六 三七三 二月十一日 合八二 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四五六

一六 三七四 二月十一日 合八三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四五七

一一 二二八 二月十五日 七 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)……………三〇三

一一 二二九 二月十五日 五 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三〇三

一六 三七五 二月十七日 六四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四五八

一六 三七六 二月十七日 合八四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四五九

一一 二三〇 二月二十日 九 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)……………三〇三

一四 二八〇 二月二十日 五五 在瑞典国畑公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三七六

一七 五七八 二月二十日 四二 在紐育熊崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………六八九

一六 三七七 二月二十一日 六五 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四六〇

一六 三七八 二月二十一日 機密九 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛……………四六一

附屬書 右書翰……………四六一

一六 三七九 二月二十一日 合八五 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………四六五

五 七九 二月二十二日 牛島在米日本人会会長ヨリ
高橋総理大臣、内田外務大臣宛(電報)……………八五

在留邦人家族呼寄禁止協約締結ノ阻
止方請願ノ件……………八五

一九 六五九 二月二十二日 八 内田外務大臣ヨリ
在浦潮永井政務部長代理宛
(電報)

シベリア鉄道管理ニ関シ米國大使ヨ
リノ希望申出ニ鑑ミ貴官ニ於テモ米
國委員トノ意思疏通方ニ努メラレ度
旨指示ノ件 七六〇

別電 同日内田外務大臣ヨリ在浦潮永井政務部長代理宛電報第九
号 七六一

五 八〇 二月二十三日 公四一 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ 日米新協約案成立ニ反対スル南加中
央日本人会ヨリノ陳情書写送付ノ件 八五

附屬書 二月十六日附右陳情書写 八六

五 八一 二月二十四日 六八 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛 (電報) 日米新協約案ニ付審議再開ノ場合事
前ニ請訓スル様指示ノ件 八七

九 一七一 二月二十四日 公五三 在ヴァンクーヴァー齋藤領事
ヨリ 日本人ノカナダヘノ帰化問題ニ対ス
ル係法官グラント判事ノ意見豹変ノ
件 一九三

附屬書 同日齋藤領事宛阿往第七号写 一九三

一一 二三一 二月二十五日 六 在サンパウロ藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 無補助移民受入ハ近日中ニ裁可ヲ得
ル見込ノ由回報ノ件 三〇四

九 一七二 二月二十七日 機密公五 在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛 労働組合代表者ノ東洋人排斥立法建
議並首相キング及ルミューノ日本移
民問題ニ対スル態度報告ノ件 一九六

一六 三八〇 二月二十七日 合八六 松島政務部長 (大連出張中)
ヨリ 極東共和国軍ノ進撃ノ結果生ズベキ
事態其他ニ関シベトロフトノ意見交
換ニ付報告ノ件 四六六

三 月

一一 二二三 三月四日 八 在サンパウロ藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 応募契約済移民六百人ノ渡航許可状
下附並移民ノ搬運方要望ノ件 三〇四

一六 三八一 三月四日 合八七 松島政務部長 (大連出張中)
ヨリ 松花江航行権問題ニ関スル打開案ニ
付意見具申ノ件 四六八

一一 二二三 三月六日 機密四 在サンパウロ藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛 新並既募集六百人ノ移民ニ限ル補助
許可ノ経緯報告ノ件 三〇四

一五 三〇二 三月六日 九〇 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長 (大連出張中)
宛 (電報) 極東露領沿海漁業ニ関シ我方ノ浦潮
政権ト協定ノ顛末ヲ齊多政府側ニ諒
得セシムル様訓令ノ件 三九七

九 一七三 三月八日 公五六 在ヴァンクーヴァー齋藤領事
ヨリ B・C州ニ於ケル東洋人排斥現況報
告ノ件 一九七

一六 三八二 三月八日 合八八 松島政務部長 (大連出張中)
ヨリ 極東共和国軍及日本軍間ノ衝突防止
ノ為暫定取極ヲ結ビ度旨ベトロフト申
出テタル件 四六八

一六 三八三 三月八日 合八九 松島政務部長 (大連出張中)
ヨリ 三月二日極東共和国相ヤンソン 発
内田外相宛電報ノ要旨報告ノ件 四六九

一一 二四八 三月九日 一〇四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 對墨武器彈藥ノ輸出ハ目下禁止セザ
ルベキ旨米國國務省公表ノ件 三二九

一一 二四九 三月十日 公六三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 對華武器輸出禁止ニ関スル大統領及
對墨武器輸出解禁ニ関スル國務省公
表文送附ノ件 三二九

附屬書 右國務省公表文

一一 二五〇 三月十日 欧三公信 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 輸出禁止ヲ解除セル旨報告ノ件……………三三〇

附屬書 武器彈藥輸出禁止ニ関スル米國兩院共同決議……………三三一

一二 二五一 三月十日 欧三公信 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ ノ論説訳報ノ件……………三三二

附屬書 ラファエル、ニエト氏論説「条約ノ締結ト承認」訳文……………三三二

一三 二七一 三月十一日 五九 在独国日置大使ヨリ 露國政府承認問題露國政府トノ交渉 問題等ニ関シ「デバノン」英大使 トノ意見交換ニ付報告ノ件……………三六九

一八 五九三 三月十二日 一四八 在英国外務大臣ヨリ 反日委員会ガチタ政府代表覚書ト称 スルモノニ於テ日本軍ノシベリア出 兵ヲ非難セル印刷物ヲ配布ノ件……………七〇一

一五 三〇三 三月十三日 一〇七 内田外務大臣ヨリ 浦潮政情ニ関シ通報ノ件……………三九九

一五 三〇四 三月十五日 六七 松島政務部長（大連出張中） 露國沿海漁業關係我方浦潮政權間協 定ニ付齊多側代表ベトロフヘ説明シ 之ニ対スル同人ノ回答ニ就キ請訓ノ 件……………三九九

別電一 同日松島政務部長發内田外務大臣宛第六八号……………四〇〇

右ベトロフヨリノ回答要領

二 同日松島政務部長發内田外務大臣宛第六九号……………四〇一

右ベトロフノ回答ニ対シ重ネテ我方ノ立場ヲ説明スル案文

一六 三八四 三月十六日 一三一 在米國幣原大使ヨリ 紐育タイムス掲載ノチタ政府代表者 談要領報告ノ件……………四七一

附屬書 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 報ノ件……………三三五

一二 二五二 三月十七日 欧三公信 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 報ノ件……………三三五

附屬書 ボレチン、フィナンシエロ掲載論評「墨國現政府承認問題」 訳文……………三三五

一五 三〇五 三月十八日 九一 内田外務大臣ヨリ 露國沿海漁業ニ関シ齊多側代表ニ我 方ノ立場説明ノ案文是認ノ件……………四〇二

一七 五七九 三月十八日 一三四 在米國幣原大使ヨリ 米國ニ於ケル極東共和国側ノ反日宣 伝ニ對抗ノ措置ニ付稟申ノ件……………六九〇

一六 三八五 三月十九日 在米國幣原大使ヨリ 極東共和国代表ノ排日演説ニ関スル 対策ニ付稟申及請訓ノ件……………四七二

一一 二三四 三月二十日 通公四〇 在サンパウロ藤田總領事ヨリ 排日論説及之ヲ反駁セシメタル記事 訳報ノ件……………三〇七

附屬書一 ユナイテッド、プレス通信訳文……………三〇八

二 エスタード紙論難訳文……………三〇八

三 ジョルジ、マッシュヤードノ反駁記事訳文……………三一一〇

四 パトリア紙社説訳文……………三一一三

一六 三八六 三月二十日 九二 内田外務大臣ヨリ チタ側ノ二月十日附口上書ニ対スル 日本側ノ取扱方ニ付訓電ノ件……………四七二

一六 三八七 三月二十日 九三 内田外務大臣ヨリ 基本協約ニ関シ合意成立シタル場合 ノ調印問題ニ付訓電ノ件……………四七四

三 二八 三月二十一日 機密公 在シアトル斎藤領事ヨリ 華盛頓州排外土地法中ノ信託讓渡契 約ノ効力ニ関スル件……………五一

一六 三八八 三月二十二日 九六 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 議申入方訓電ノ件 四七四

九 一七四 三月二十三日 一一 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) カナダ議會ニ於ケルB・C州選出マ
クブライド議員ノ東洋人排斥演説大
要報告ノ件 一九九

一一 二三五 三月二十三日 一〇 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛
(電報) 伯国行移民神戸港出發ノ件 三三四

一二 二五三 三月二十三日 八一 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 墨国最近ノ情勢ニ関シ報告ノ件 三三七

一六 三八九 三月二十三日 往四八 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チタ軍前進ノ制限地域設置ニ関スル
軍ノ意見ニ付報告ノ件 四七五

一六 三九〇 三月二十三日 合九〇 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 會議促進ノ上扁任方チタ政府ノ電命
ニ接セル旨ベトロフ談話ニ付報告及
稟請ノ件 四七五

一六 三九一 三月二十三日 合九一 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 日本政府回答ノ第一第二及第三点ニ
関スルベトロフトノ討議ニ付報告ノ
件 四七六

一六 三九二 三月二十三日 合九二 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 尼港事件交渉ヲ後廻シトシ基本協約
ヲ至急調印スベシトスル日本政府ノ
方針ニ対スルベトロフトノ反対意見報
告ノ件 四七八

一一 二二六 三月二十四日 九 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 渡航許可済移民六百名中今次渡航ニ
洩レタル者ノ取扱ニ付請訓ノ件 三二五

一五 三〇六 三月二十四日 九八 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 極東露領沿海漁業ノ漁区借区料ニ付
回電ノ件 四〇二

九 一七五 三月二十五日 一二 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) カナダ議會下院ニ於ケルB・C州選
出議員ノ日本人排斥演説大要報告ノ
件 一九九

一六 三九三 三月二十五日 九九 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中) 宛
(電報) 黒竜江航行権問題ニ関シ文書ヲ以テ
約束スル様申入方訓電ノ件 四八〇

一六 三九四 三月二十六日 合九三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 軍事委員会開催問題其ノ他ニ関シベ
トロフト意見交換ニ付報告ノ件 四八一

一六 三九五 三月二十六日 合九四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 基本協約調印ニ関シベトロフトノ交
渉ニ付報告ノ件 四八一

一六 三九六 三月二十七日 一〇一 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中) 宛
(電報) 基本協約及軍事協定ノ調印ガ四月十
五日迄ニ行ハレザル場合ニハ交渉ヲ
打切ル旨ノ警告ヲ発スル様訓令ノ件 四八二

九 一七六 三月二十八日 一四 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) B・C州選出カナダ議會下院議員東
洋人移民排斥ノ動議提出ノ件 二〇〇

一一 二二七 三月二十八日 一一 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛
(電報) 伯国行移民渡航者数減員ノ事情ニ関
スル件 三二五

附 記 補助移民減少ヲ釈明セル海外興業社答申書……………三二五

一七 五八〇 三月二十八日 公二二九 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 極東共和国ノ財政経済ニ関スル同國
国立銀行總裁ノ談話報告ノ件 六九〇

一五 三〇七 三月二十九日 機密三三 在浦潮松村総領事ヨリ
内田外務大臣宛 浦潮在留邦人ノ白軍援助ノ為ノ日中
人混成義勇軍組織ノ計画ニ関スル件 四〇二

四	七〇	三月三十日	六八	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中部加州地方ノ排日情勢報告ノ件	……	七九
一八	五九四	三月三十日	一〇四	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中)宛 (電報)	齊多軍ノ武装団体禁止区域内侵入ニ 付齊多側代表ベトロフニ警告シ該区 域外ニ撤退セシムル様取計方訓令ノ 件	……	七〇二
一二	二五四	三月三十一日	欧三公 九三	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	在米墨国亡命者ノ近状報告ノ件	……	三四一
一六	三九七	三月三十一日	合九五	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	交渉打切ニ関スル日本側ノ方針ヲ説 明シベトロフト意見交換ニ付報告ノ 件	……	四八四
一八	五九五	三月三十一日	浦参謀 二二二	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 参謀次長宛(電報)	制限地域内ニ進入セル齊多軍ト日本 軍トノ間ニ發生セシ武力衝突事件ニ 関シ報告ノ件	……	七〇三
一八	五九六	三月三十一日	浦参特 三三二	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 参謀次長宛(電報)	齊多軍ノ日露議定書違反行為ニ付齊 多代表ニ注意スル様松島大連會議代 表ヘ電報ノ件	……	七〇四
一九	六六〇	三月三十一日	公一三八	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	東支鉄道技術部廢止要求ノ中国政府 宛通電ニ関スル新聞報道ノ件	……	七六一

四月

九	一七七	四月一日	八	在ヴァンクローヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	帰化邦人ノ待遇問題ニ関シカナダ政 府ニ交渉ノ件ニ付太田總領事ヨリ返 電ノ件	……	二〇〇
一二	二五五	四月一日	欧三公信 九四	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	米國ノ墨国承認ニ関スル観測報告ノ 件	……	三四二
一六	三九八	四月一日	合九八	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣、在浦潮政務部 宛(電報)	軍事協定案ニ対スルチタ側ノ対案提 示ニ付報告ノ件	……	四八五
一六	三九九	四月一日	合二〇二	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	別電一 四月一日松島政務部長宛内田外務大臣宛電報合第九九号 チタ側提出ノ修正軍事協定案 二 同右電報合第一〇〇号 チタ軍ノ浦潮進出ニ関シ日本側ヨリ声明セラレタキ文書 三 同右電報合第一〇一号 私有財産權ニ関シチタ側ヨリ声明スベキ文書案	……	四八七 四八八 四八八
九	一七八	四月二日	一五	在オタワ太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	尼港事件ニ関スル議定書案ヲチタ側 ヨリ提出ニ付報告ノ件	……	四八九

一八	五九七	四月三日	浦参特 参謀次長宛(電報)	日本軍ハ齊多軍ノ浦潮進入ヲ断ジテ 許容セザル旨松島大連會議代表ニ連 絡方ノ件	七〇四
四	七一	四月四日	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中部加州地方ノ排日情勢統報ノ件	七九
一六	四〇〇	四月四日 合一〇四	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮要塞撤廃ニ関スル声明案ヲペト ロフヨリ提示竝私産有財産権及河川航 行権等ニ関スル會談ニ付報告ノ件	四九〇
	別電		同日松島政務部長發内田外務大臣宛電報合第一〇五号 浦潮要塞撤廃ニ関スル声明案	四九〇	
一六	四〇一	四月四日	閣議決定	大連會議ニ於テチタ側ガ我方主張ヲ 承諾スル見込ナキ場合ニ対スル措置 振ニ関スル件	四九二
一六	四〇二	四月五日	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮ニ於ケル某新聞ノ記者トヤンソ ントノ會見記事報告ノ件	四九三
一六	四〇三	四月五日	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	チタ側ノ態度ニ疑アルニ付我方ノ庇 対振ニ関スル心得訓示ノ件	四九五
一六	四〇四	四月五日	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中)宛 (電報)	我國ノ交渉打切申入ハ最終的決定ナ ル旨ペトロフニ言明方訓令ノ件	四九六
八	一〇一	四月六日 局六二二	農商務省水産局長ヨリ 外務省通商局長宛	大正十一年度露領沿岸漁業対策ニ関 シ近ク提出スベキ閣議案ニ農商務省 側意見感込方申越ノ件	一二〇
九	一七九	四月六日 公九五	在ヴァンクローヴァー齊藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	日本人帰化申請ヲ拒否セル係法官 ラント判事最近ノ取扱振報告ノ件	二〇一
	附屬書		同日齊藤領事發在オタワ太田總領事宛阿往第一八号写 右ノ件	二〇二	
一八	五九八	四月六日 合一〇二	内田外務大臣ヨリ 在米田佐分利臨時代理大使 在奉天赤塚總領事 在上海船津總領事各宛(電報)	スペインコエ附近ニ於ケル日本、齊多 兩軍衝突ニ関スル件	七〇五
一八	五九九	四月六日 一八一	在米田佐分利臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西比利亞ニ於ケル日本齊多兩軍ノ衝 突及日本ノ撤兵ニ付齊多側ノ声明及 米田新聞ノ論評報告ノ件	七〇五
一五	三〇八	四月七日 七八	在紐約熊崎總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフガ紐育ニ於テ逮捕セラレタ ル件ニ付報告ノ件	四〇三
一六	四〇五	四月七日 合一〇七	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	四月六日ノ會議ニ於テ日本側ノ最終 的決定ヲ申入タレルニ対スルペトロ フノ回答ニ付報告ノ件	四九七
一六	四〇六	四月七日 合一〇八	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	四月六日ノ會議ノ模様ニ付更ニ報告 ノ件	四九八
八	一〇二	四月八日 公一六四	在中國吉田臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	露領ニ於ケル漁業權問題ニ関スル英 字紙記事報告ノ件	一一一
	附記		北支スター紙記事と訳文	一一一	
一五	三〇九	四月八日	極東共和国外務大臣ヤンソン ヨリ 内田外務大臣宛	極東露領沿海漁業ノ漁区競売ヲ四月 二十八日ニ行フ旨ノ日本側決定ニ抗 議ノ件	四〇四
一六	四〇七	四月八日 合一〇九	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	私有財産制ノ保障ニ関スルペトロフ ノ新ナル主張ニ付請訓ノ件	四九九
一六	四〇八	四月八日 合一一〇	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	七日ノ會議ニ於テチタ側ヨリ對案提 示ノ件	四九九

別電

同日松島政務部長発内田外務大臣宛電報合第一二二一号
チタ側提示ノ对策案ヘノ追加条項

……五〇一

一六 四〇九 四月八日 一二一

内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
(電報)

尼港事件及押収武器引渡問題ニ関ス
ル日本側ノ解決案ニ付訓令ノ件
……五〇二

一八 六〇〇 四月八日 合一〇六

内田外務大臣ヨリ
在米田佐分利臨時代理大使
在奉天赤塚總領事
在上海船津總領事各宛(電報)

スパスコエ方面ニ於ケル日本、齊多
兩軍ノ衝突ノ経緯通報ノ件
……七〇六

一六 四二〇 四月九日 合一二四

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本軍ノ撤兵時期ヲ明示スベシトノ
チタ側ノ強硬主張ニ付請訓ノ件
……五〇二

一六 四二一 四月九日 合一二五

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

チタ軍ト日本軍トノ衝突事件ニ関ス
ルヤンソンノ抗議電報ヲ転電ノ件
……五〇三

一六 四二二 四月九日 合一二六

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

私有財産ノ保障ニ関スル極東共和国
ノ文書案ヲベトロフヨリ提示ノ件
……五〇四

一六 四二三 四月十日 合一二七

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四月八、九兩日ニ於ケル通商協約案
第五条以下逐条審議ノ模様報告ノ件
……五〇四

一九 六六一 四月十日 公二六九

在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛

東支鉄道蒙古回復問題ニ関連シ日本
ノ政策ヲ批判セル新聞記事報告ノ件
……七六二

八 一〇三 四月十一日 発四三五

前田露領水産組合組長ヨリ
内田外務大臣宛

軍艦派遣方加藤海軍大臣ニ請願シタ
ル件
……一二三

九 一八〇 四月十一日 公七一

在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

B・C州閣令確認法否認ニ関スル総
督令ヲ送付ノ件
……二〇三

附屬書一 四月一日枢密院書記官補ヨリ太田總領事宛書翰写

……二〇四

二 右總督令写送付ノ件 總督令写 ……二〇五
三 右總督令ニ附屬ノカナダ司法大臣ヨリ總督宛上申書 ……二〇五

一六 四一四 四月十一日 合一二〇

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

要塞撤廢及海軍力制限問題ニ関スル
會議ノ討議狀況ニ付報告ノ件
……五〇六

一六 四一五 四月十一日 合一二一

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

河川航行権問題ニ関シ極東共和国ヨ
リ提出スベキ文書案ニ付報告ノ件
……五〇七

一六 四一六 四月十一日 合一二二

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

撤兵期限ノ明示ニ関スルベトロフ再
度ノ強硬主張ニ付報告ノ件
……五〇八

一六 四一七 四月十一日 合一二七

内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)宛
(電報)

チタ側提出ノ対案ニ対スル日本政府
ノ見解ヲ訓令ノ件
……五〇八

一六 四一八 四月十一日 一二八

内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)宛
(電報)

通商協約及附屬文書ニ関スル我方成
案ハ先方ノ立場ヲ顧慮シタルモノナ
ル旨等ヲ説示ノ上我方成案貫徹方訓
令ノ件
……五一〇

一六 四一九 四月十一日 一三七

松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

訓令ノ趣旨貫徹シ難キニ付辞意表明
ノ件
……五一〇

一六 四二〇 四月十一日 一三〇

内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

撤兵期日ノ明示ハ不可能ナル旨並所
定期日内ニ協約及協定ノ成立ヲ見ザ
ルニ於テハ断乎交渉打切ルベキ旨訓
令ノ件
……五一〇

一八 六〇一 四月十一日 五三

浦參特
陸軍次官宛(電報)

日本及齊多兩軍ノ武力衝突ノ真相ヲ
松島大連會議代表ヘ電報ノ件
……七〇七

八 一〇四 四月十二日 局六九九 農商務省水産局長ヨリ 露領沿岸出漁者保護及出漁ニ関スル 閣議決定促進方依頼ノ件 …… 一二四

一六 四二二 四月十二日 一三一 内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 対シ最後ノ督促ヲ加ヘ我方ノ主張ヲ 承諾セシムル様努力方訓令ノ件 …… 五二一

一六 四二二 四月十二日 合二二四 松島政務部長(大連出張中) ヨリ 交渉決裂ノ危険ニ当面スルニヨリ我 方ノ措置振ニ付請訓ノ件 …… 五二二

一六 四二三 四月十二日 官房機密 井出海軍次官ヨリ 軍事協定内容ニ関スル海軍側ノ条件 通報ノ件 …… 五二二

一八 六〇二 四月十二日 二四七 在英國徳川臨時代理大使ヨリ メイ、デイ祝賀委員会ハ日本ノ西比 運動ヲ行フベキ旨予告越セル件 …… 七〇八

八 一〇五 四月十三日 発四四七 前田露領水産組合組長ヨリ 本年度新規開設漁区ノ経営方ニ付請 願ノ件 …… 一二四

一六 四二四 四月十四日 一三三 内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中)宛 撤兵期限明示方ニ関スル先方ノ希望 付回訓ノ件 …… 五二三

八 一〇六 四月十五日 八九 閣議決定 本年度露領沿岸ノ漁業対策ニ関シ請 議ノ件 …… 一二五

一五 三二〇 四月十五日 八九 在紐育熊崎總領事ヨリ セメノフノ西比利亞ニ於ケル行動ニ 対スル米国内ノ非難ニ関シ報告ノ件 …… 四〇七

一六 四二五 四月十五日 合二二七 松島政務部長(大連出張中) ヨリ 我提案全部ヲペトロフニ示シ諾否ノ 回答ヲ求メタルニ対シ多数ノ異議アリタルニ付會議ノ打切ヲ声明スベキ ヤ請訓ノ件 …… 五二四

一六 四二六 四月十六日 一三五 内田外務大臣ヨリ 我委員ハ會議ヲ打切り直ニ引揚グル 旨先方ニ通報方回訓ノ件 …… 五二〇

一五 三二一 四月十七日 六六 附記 四月十七日松島政務部長ノ為シタル公表 大連交渉不調ノ件 …… 五二一

一六 四二七 四月十七日 合二二八 松島政務部長(大連出張中) ヨリ 過激派ノレニン等ヲゼノア會議ニ參 加セシムルコトニ付沿黒龍政府ヨリ …… 四〇七

一八 六〇三 四月十七日 一〇一 内田外務大臣宛(電報) 同會議議長ニ抗議ノ件 …… 五二一

一八 六〇四 四月十七日 二九五 浦潮派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報) 我軍西比利亞撤兵ニ際シ邦人ノ引揚 及残留ノ員数見込報告ノ件 …… 七〇九

八 一〇七 四月十八日 局七三六 農商務省水産局長ヨリ 大連會議断絶後ニ於ケル派遣軍ノ態 度ニ付隸下部隊ニ指示ノ件 …… 七〇九

一五 三二二 四月十八日 六七 在浦潮永井政務部長代理ヨリ 大正十一年度露領出漁ニ関スル水産 局長発北海道長官等宛電報写送付ノ 件 …… 一二六

八 一〇八 四月十九日 九五 通監機密 植原外務次官ヨリ 浦潮政權主班メルクローフハ大連會 議、日本軍撤退問題、齊多政府ノ虚 構ノ宣伝ニ関シ一般住民ニ宣言ヲ発 シタル件 …… 四〇八

八 一〇九 四月十九日 六〇九 通監普通 村上水産局長、古谷通商局長 本年度露領沿岸ノ漁業対策ニ付關係 機関へ通達方依頼ノ件 …… 一二七

八 一〇九 四月十九日 六〇九 前田露領水産組合組長宛 本年度露領沿岸ニ於ケル邦人出漁ニ 関スル閣議決定及借区料等ノ決定通 知ノ件 …… 一二八

八 一一〇 四月十九日 發四六五 前田露領水産組合組長ヨリ
古谷通商局長心得宛 露領漁業密業者ノ取締方請願ノ件 …… 一二九

二 二五六 四月十九日 二〇八 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) シ國務省ニ真否ヲ確メタル件 …… 三四三

一六 四二八 四月十九日 一一九 在瑞典國烟公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 大連會議ニ関シヤンソン外相ノ為セ
ル日本非難ノ談話報告ノ件 …… 五二二

一八 六〇五 四月十九日 九五 在紐育熊崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本ノ西比利亞派遣軍ノ交代兵派遣
問題ニ関スル紐育新聞論調報告ノ件 …… 七一〇

一六 四二九 四月二十日 合一二九 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 松島政務部長一行大連出發歸朝ノ件 …… 五二三

一七 五五一 四月二十一日 二二五 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 莫斯科及齊多兩政府間ニ調印セラレ
タル經濟條約ニ付報告ノ件 …… 六九二

五 八二 四月二十二日 幣原大使談 加州排日問題解決ニ関スルヒューズ
國務長官トノ會談ニ付テノ談話要領 …… 八七

九 一八一 四月二十二日 一八 在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) カナダ在留日本人問題ノ參考資料ヲ
キング首相及ルミュー議長ニ提供ノ
旨報告竝ニ歸化日本人問題ノ方針ニ付
請訓ノ件 …… 二〇七

四 七二 四月二十三日 八七 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州知事等ノ改選期日接近ニ伴ヒ地
方政治家ノ排日運動活発化ノ件 …… 七九

四 七三 四月二十三日 八八 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 排日立法運動ノ中止ヲ報セル新聞報
道ニ関スル件 …… 八〇

八 一一一 四月二十四日 一〇五 在浦潮松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本政府ガ自由出漁ヲ許可セル旨ノ
新聞記事ニ関シ外交部ヨリ照會アリ
タルニ付請訓ノ件 …… 一二九

八 一一二 四月二十六日 九二 内田外務大臣ヨリ
在浦潮松村總領事宛(電報) 露国外交部ヨリノ照會ニ対スル回答
振ニ関シ回訓ノ件 …… 一二九

別電 同日内田外務大臣發松村總領事宛電報第九三號
自由出漁容認ニ関スル公表文 …… 一三〇

八 一一三 四月二十六日 官房機密 井出海軍次官ヨリ
壇原外務次官宛(電報) メルクロフ政權漁業監視船武裝ニ
関スル來往電通牒ノ件 …… 一三一

三 二二九 四月二十七日 九二 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 大審院ニ上告ノ借地及収獲兩契約事
件ノ弁論十一月十三日開始ニ付報告
ノ件 …… 五二

一六 四三一 四月二十七日 六六 在ハルビン山内總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チタ政府外相ヨリ内田外務大臣宛公
文ヲ同大臣ニ傳達方在ハルビンチタ
政府代表者ヨリ依頼越ノ件 …… 五二五

一六 四三二 四月二十七日 公一六六 在ハルビン山内總領事ヨリ
内田外務大臣宛 附記 四月二十六日在ハルビンチタ政府代表者ヨリ山内總領事宛
書翰和訳文 …… 五二六

一八 六〇六 四月二十七日 一六八 内田外務大臣ヨリ
在英國德川臨時代理大使宛(電報) 反日委員会配布ノ覺書ハ事實無根ノ
捏造説ナルコトヲ同委員会乃至勞働
組合ニ説明スル様訓令ノ件 …… 七一一

八 一一四 四月二十八日 官房機密 井出海軍次官ヨリ
壇原外務次官宛(電報) 露領沿岸出漁者保護取締方針ニ関ス
ル外務省側意見問合ノ件 …… 一三二

九 一八二 四月二十九日 八 内田外務大臣ヨリ
在オタワ太田總領事宛(電報) カナダニ於ケル歸化日本人問題ニ対
スル我政府ノ態度ニ付回訓ノ件 …… 二〇九

五月

附記

大正七年十二月内田外務大臣発在「ヴァンクローア」浮田領事宛第一七号
日本人ノ帰化問題ニ対スル日本政府ノ態度回訓ノ件
……………二二〇

八 一二五 五月一日 二二八 内田外務大臣ヨリ
在米國佐分利臨時代理大使宛
(電報)
本年度露領沿岸ニ於ケル邦人ノ漁業
対策決定セル旨通報ノ件
……………一三四

八 一二六 五月一日 二二〇 内田外務大臣ヨリ
在米國佐分利臨時代理大使宛
(電報)
邦人漁業者ノ露領沿岸出漁ニ関スル
メルクロフ政權トノ交渉経緯公表ノ
概要通報ノ件
……………一三四

八 一二七 五月一日 通監機密
三六 井出海軍次官ヨリ
露領沿岸出漁邦人保護取締方針ニ関
シ回答ノ件
……………一三五

三 三〇 五月二日 九四 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
加州大審院ニ上告ノ矢野速雄後見人
訴訟ハ矢野勝訴ノ判決アリタル件
……………五二

附記 大正十年十一月十九日在桑港矢田総領事宛内田外務大臣宛
電報第四〇〇号
矢野速雄後見人訴訟上告ノ判決延期ノ件
……………五三

九 一八三 五月二日 二五 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日本移民ニ関スル諸事項及日本ニ於
ケルカナダ人ノ權利享有ニ関シ前内
閣農務大臣 Folme ヨリ質問提起
ノ件
……………二二〇

一八 六〇七 五月二日 二七七 在英国徳川臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
メイ、デイ祝賀委員会ノ示威運動団
ガ日本大使館ニ来リ日本ノ西比利亞
撤兵ヲ求ムル決議書ヲ提出セル旨報
告ノ件
……………七一

一九 六六二 五月二日 官外四七 石丸鉄道次官ヨリ
植原外務次官宛
西比利亞鉄道監督業務ニ要スル經費
ニ関スル閣議決定送付ノ件
……………七六四

附屬書 右閣議決定写

……………七六四

八 一一八 五月四日 豊田海軍省軍務局局長ヨリ
酒匂外務省通商局監理課長宛
露国監視船ニ対スル警告案ニ関スル
件
……………一三五

附記 露国監視船ニ対スル警告案
……………一三六

八 一一九 五月四日 官房機密
六五七ノ二 井出海軍次官ヨリ
植原外務次官、田中農商務次
官宛
露領沿岸出漁邦人保護取締ニ関連シ
「メルクロフ」政權ニ武器不交付
ノ旨通牒ノ件
……………一三七

八 一二〇 五月四日 公一八〇 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛
漁業問題ニ関スル「ルリスキ、ゴロ
ス」紙記事訳報ノ件
……………一三八

七 九三 五月五日 一六二 在ゼノア経済財政会議代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
現行日英通商航海条約中第八条ノ一
部修正ノ方針ニテ対英交渉ノ開始方
川島ヨリ稟申ノ件
……………一〇八

七 九四 五月五日 一六三 在ゼノア経済財政会議代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日英通商航海条約廃棄ノ通告ヲ避ケ
度旨林大使ヨリ稟申及請訓ノ件
……………一一〇

八 一二一 五月五日 通監機密
一 内田外務大臣ヨリ
本年度露領沿岸ノ漁業対策通報ノ件
……………一四〇

八 一二二 五月五日 發五四五 前田露領水産組合組長ヨリ
古谷通商局長心得宛
露人関係漁区経営方容認ニ関シ請願
ノ件
……………一四一

九 一八四 五月五日 四 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクローヴァー斎藤領事
宛(電報)
帰化拒否サレタル日本人ハ国籍法第
二十四条ノ例外規定ニ該当スルヤ查
報方及グラント判事ノ意見是正方訓
令ノ件
……………二二一

三	三一	五月六日	九八	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	矢野速雄後見人訴訟事件ノ加州大審 院判決文要旨報告ノ件	五四
四	六七	五月六日	九七	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	タールラック事件公判ニ於テ被告六名 全員無罪ノ宣告アリタル趣報告ノ件	七七
八	一一三	五月六日	一一六	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	本年度本邦人ノ自治出漁ニ対シ浦潮 政府ヨリ抗議ノ件	一四一

別電 五月六日附在浦潮松村総領事宛内田外務大臣宛電報第一
七号
浦潮政府外交部長代理持参ノ口上書
……………一四二

一九	六六三	五月六日	四一	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	日本政府又ハ滿鉄ノウスリー鉄道租 借説ハ虚構ナル旨オザルニンニ通知 方並齊多側トノ連絡保持方ニ付訓令 ノ件	七六五
----	-----	------	----	---------------------------------	----------------------------------------------------------------	-----

九	一八五	五月七日	二六	在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	トルミー質問ノ日本移民ニ関スル諸 事項及日本ニ於ケルカナダ人ノ權利 享有ニ付キング首相ノ回答要旨報告 ノ件	二一一
---	-----	------	----	----------------------------	----------------------------------------------------------------	-----

四	六八	五月八日	九九	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	タールラック事件公判ノ詳報及本件無 罪判決ニ対スル我方措置ニ付請訓ノ 件	七七
---	----	------	----	---------------------------	--------------------------------------------	----

八	一二四	五月八日	公二〇七	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	本邦漁業者自治出漁ニ関スル新聞論 評並右措置ニ対スル反響報告ノ件	一四四
一一	二三八	五月八日	機密通公 八	在伯国堀口公使ヨリ 内田外務大臣宛	伯国ニ於ケル最近ノ排日記事ニ関連 シ来伯邦人ノ注意喚起方稟申ノ件	三二六

三	三二	五月九日	四三	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	附屬書 大正十年十一月十八日附時事新報切抜高橋首相談話掲載 矢野速雄後見人訴訟事件ノ加州大審 院判決ニ関スルエリオット弁護士ノ 意見ニ付問合ノ件	三一九 五五
---	----	------	----	---------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------

四	六九	五月九日	四二	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	タールラック事件判決ニ対スル措置訓 令ノ件	七八
---	----	------	----	---------------------------	--------------------------	----

九	一八六	五月九日	二七	在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ下院ニ於テ東洋人移民排斥ノ マクカリール決議案ヲ修正ノ上可決ノ 件	二二二
---	-----	------	----	----------------------------	--------------------------------------------	-----

九	一八七	五月九日	二九	在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ下院ニ於ケル東洋人移民排斥 決議案討議ノ模様ヲ詳報ノ件	二二三
---	-----	------	----	----------------------------	-----------------------------------	-----

一六	四三〇	五月九日	軍政送 二二	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛	パトロフニ依ル大連會議ノ経過報告 ニ関スル件	五二三
----	-----	------	-----------	--------------------------	---------------------------	-----

三	三三	五月十日	一〇二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	矢野速雄後見人訴訟事件ノ加州大審 院判決ニ関スルエリオット弁護士ノ 意見ノ意味回電ノ件	五五
---	----	------	-----	---------------------------	---------------------------------------------------	----

四	五四	五月十日	三五	在ホノルル山崎総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	写真結婚婦人ニ対スル読書試験施行 決定ノ件	七一
---	----	------	----	-----------------------------	--------------------------	----

九	一八八	五月十一日	公一三五	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	カナダ議會ノ東洋移民排斥決議案可 決ニ関スル新聞報道振及論調報告ノ 件	二二七
---	-----	-------	------	--------------------------------	-------------------------------------------	-----

四	七四	五月十二日	一〇五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州改選ニ際シテノ政界情勢ノ件 ……………八一	八一
---	----	-------	-----	---------------------------	----------------------------	----

八	一二五	五月十二日	公一一七	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	本邦漁業者ノ自由出漁ニ関スル当地 新聞ノ評論記事訳報ノ件	一四五
四	五五	五月十三日	二四四	内田外務大臣ヨリ 在米田佐分利臨時代理大使宛 (電報)	写真結婚ニ対スル米国側解釈ノ変更 事情査報方ノ件	七一

八 一二六 五月十三日 磯村浦潮派遣軍參謀長ヨリ
尾野陸軍次官宛

露領沿海州出漁邦人ノ保護取締ニ関
シメルクイロフ政權ニ武器不交付ノ
旨回答ノ件 …… 一四七

九 一八九 五月十三日 九 内田外務大臣ヨリ
在オタワ太田總領事宛(電報)

日本ニ於ケルカナダ人ノ權利享有ニ
関スル首相回答中ノ土地所有權、勞
働等ニ付テノ誤謬及不備訂正方訓令
ノ件 …… 二一八

九 一九〇 五月十三日 三〇 在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東洋移民ニ関スルカナダ議會決議ニ
付注意ヲ要スル点及キング首相ヨリ
何等カ申出アルベキ模様ナル旨報告
ノ件 …… 二一九

一六 四三三 五月十三日 吹一機密
内田外務大臣ヨリ
在ヘルピン山内總領事宛

チタ政府外相ヨリノ公文ニ対シ回答
ノ件 …… 五二九

附屬書 五月十三日附内田外務大臣ヨリチタ政府外相宛回答書 …… 五二九

八 一二七 五月十五日 十一局
九五八 村上農商務省水産局長ヨリ
古谷外務省通商局長心得宛

不正漁業者ノ取締ニ関シ在ベトロバ
ウロフスク緒方領事ニ訓令方依頼ノ
件 …… 一四八

八 一二八 五月十五日 官房機密
七二二ノ四 加藤海軍大臣ヨリ
内田外務大臣宛

居留邦人保護ノ為特務艦山ヲオコ
ツク海方面ヘ派遣ノ件 …… 一四九

九 一九一 五月十五日 三一 在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東洋人移民問題ニ関スルカナダ政府
ト日中間往復文書公表方要請ノ動議
下院ニ提出サレタル件 …… 二二一

七 九五 五月十八日 六一 内田外務大臣ヨリ
在ゼノア經濟財政會議代表宛
(電報)

日英通商條約第八條ノ削除ヨリモ附
屬稅表ノ修正方ヲ交渉シ度其ノ準備
中ナル旨回訓ノ件 …… 一一〇

八 一二九 五月十八日 公二二二 在浦潮松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛

日本ノ露領沿岸漁業対策ニ抗議スル
沿海州商工会議所委員會決議文訳文
送付ノ件 …… 一五〇

一七 五八二 五月十八日 浦參謀
三七一 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
參謀次長宛(電報)

極東共和国内ノ農民、労働者及軍隊
内ノ反政府的氣運ニ付報告ノ件 …… 六九二

八 一三〇 五月十九日 公二二三 在浦潮松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛

本邦漁業者ノ自由出漁ヲ非難セル
「ルスキー、クライ」新聞記事送付ノ
件 …… 一五三

八 一三一 五月十九日 村上農商務省水産局長、古谷
外務省通商局長心得ヨリ
前田露領水産組合組長宛

露人關係漁区ニ出漁容認方請願ニ対
シ不承認ノ旨通達ノ件 …… 一五五

附記 右不承認ノ理由説明 …… 一五六

九 一九二 五月十九日 五 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー斎藤領事
宛(電報)

B・C州ニオケル排日對抗運動開始
問題ニ付意見提示方訓令ノ件 …… 二二二

八 一三二 五月二十日 一六 内田外務大臣ヨリ
在ベトロバウロフスク緒方領
事宛(電報)

不正漁業者ノ取締ニ関シ指示ノ件 …… 一五六

一六 四三四 五月二十日 松平歐米局長「會談(一)
アントーノフ」

日本側及チタ側間交渉再開ニ関スル
件 …… 五三〇

九 一九三 五月二十一日 三二 在オタワ太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ニ於ケルカナダ人ノ權利享有ニ
関スルキング首相ノトルミニ対ス
ル回答中ノ誤謬訂正方首相ニ申入レ
タル件 …… 二二二

三 三四 五月二十三日 四七 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田總領事宛(電報)

日本人某ノ人身保護命令請願書ニ関
スル新聞報道ニ付問合ノ件 …… 五五

三 三五 五月二十三日 公一八七 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

矢野速雄後見事件ニ対シ郡上級裁判
所ノ矢野勝訴判決ノ件 …… 五六

八 一三三 五月二十三日 公二二五 在浦潮松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛

本邦漁業者ノ露領沿岸自由出漁ニ関
スル外交部ノ新聞發表表送付ノ件 …… 一五六

三	三六	五月二十四日	一〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外国人ノ土地会社ノ株式取得ニ関ス ル訴訟ハ我方敗訴ノ件	五七
三	三七	五月二十四日	一一	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	伊賀田ノ人身保護令請願ヲ加州大審 院却下セル事件ニ付回電ノ件	五七
三	三八	五月二十四日	一二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州検事総長大審院ノ矢野勝訴判決 ニ対シ再審請願書提出ノ件	五八
一〇	二二四	五月二十四日	五六	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	クウインズランド州ニ於テ製糖工場 ヘノ有色労働者雇入禁止判決ノ件	二七〇
三	三九	五月二十五日	一三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外国人ノ土地会社株式取得ニ対スル 合衆国地方裁判所判決ノ要点報告ノ 件	五八
八	一三四	五月二十五日	一九	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松村総領事宛(電報)	漁業問題ニ関シメルクロフ政權ヨ リ協議再開方申出ニ付指示ノ件	一六一
八	一三五	五月二十五日	高秘収 五〇六二	宮尾北海道長官ヨリ 床次内務大臣 内田外務大臣 岡警視総監宛	カムチャツカ漁業自由出漁ニ抗議ノ 為交渉委員派遣ノ件	一六二
三	四〇	五月二十六日	一五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	岡原ノ收穫契約ガ土地法違反トシテ 郡裁判所ニ起訴セラレタル件	五九
九	一九四	五月二十八日	一一	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B・C州ニ於ケル排日對抗運動ニ関 シ意見回電ノ件	二二二
一二	二五七	五月三十日	三四	在米國佐分利臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	ディアス將軍一派反カランサノ殘党 ハディアスノ再起ヲ計リ革命宣言ヲ 墨国各地ニ配布セリトノ報道報告ノ 件	三四四

六月

三	四一	六月一日	二六	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州検事総長大審院判決ニ対ス ル再審請願ヲ大審院却下ノ件	五九
九	一九五	六月一日	機密公 一一	在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	日本ニ於ケルカナダ人ノ權利享有ニ 関スルキング首相ノトルミーヘノ回 答中ノ一部訂正方首相ニ申入ニ付詳 報ノ件	二二三

附屬書一 五月十五日附内田外務大臣ヨリ在オタワ太田総領事宛訓
令英訳文 ……二二五

二 五月二十日附在オタワ太田総領事ヨリカナダ首相宛口上
書 日本人帰國数訂正方ノ件 ……二二七

一五	三二三	六月一日	一三四	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	メルクロフ政府国民議會ノ解散ヲ 命ジ並反對派ト確執ノ状況報告ノ件	四〇九
一五	三二四	六月一日	八四	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	メルクロフ政府ト国民議會派トノ 軋轢ノ状況報告ノ件	四一〇

別電一 同日永井政務部長代理宛内田外務大臣宛電報第八五号
国民議會ガ「メルクロフ」政府員ヲ罷免シテ自ラ政權ヲ……四一一
掌握スル旨ノ決議

二	同日永井政務部長代理宛内田外務大臣宛電報第八六号 国民議會議長、副議長等ノ一般國民ニ対スル布告	……四一二				
一五	三二五	六月一日	浦参謀 三九七	在浦潮派遣軍参謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報)	メルクロフ政府及国民議會会間ノ紛 争ニ付報告ノ件	四一二

一〇 二二五 六月 二日 六〇 在シドニー鈴木総領事ヨリ 薪割作業ニ有色労働者雇入禁止判決
内田外務大臣宛(電報) 一六三

八 一三六 六月 三日 一〇八〇 前田露領水産組合組長ヨリ 組合事業船鵬丸ヲ露領沿岸へ廻航認
古谷通商局長心得宛 可方請願ノ件

九 一九六 六月 五日 機密一〇 在ヴァンクーヴァー斎藤領事 帰化拒否サレタル日本人ニ付具報及
内田外務大臣宛 係判事ニ日本国籍法ニ付説明セル書
簡送付ノ件

附屬書一 五月二十二日附シヨニボサム弁護士ヨリ日本人会宛書簡 二二八
写 二 五月三十一日附斎藤領事ヨリグラント判事宛書簡写 二三一

三 日本国籍法ノ説明…………… 二二二

一二 二五八 六月 五日 欧三公信 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 墨国最近ノ情勢ニ関シ報告ノ件…………… 三四四
内田外務大臣宛

三 四二 六月 六日 一二〇 在桑港矢田総領事ヨリ 外人土地法違反トシテ拘引セラレタ
内田外務大臣宛(電報) 用ヲ請願ノ件…………… 六〇

一五 三三六 六月 六日 一九 内田外務大臣ヨリ 浦潮政変ニ対スル日本政府ノ方針ニ
在浦潮永井政務部長代理宛 付訓電ノ件…………… 四一三
(電報)

四 五六 六月 七日 三六 在ホノルル山崎総領事ヨリ 写真結婚婦人ニ対スル読書試験ノ実
内田外務大臣宛(電報) 施期及取扱振ニ関スル件…………… 七二

八 一三七 六月 七日 官房機密 井出海軍次官ヨリ カムチャツカ方面警備ニ補給ノ為海
八四九 軍運送艦船派遣ニ付通報ノ件…………… 一六三
増原外務次官宛

一〇 二二六 六月 七日 二七 内田外務大臣ヨリ 日本人労働者排斥判決ノ対処法ニ関
在シドニー鈴木総領事宛(電 申回訓ノ件…………… 二七一
報)

一一 二二九 六月 七日 通公四二 在伯国堀口公使ヨリ 第七回伯国地学会議ニ於ケル日本移
内田外務大臣宛 民誘入反対動議ノ否決ニ関連シ伯国
人一般ノ対日感情報告ノ件…………… 三二〇

九 一九七 六月 八日 機密二二 在ヴァンクーヴァー斎藤領事 グラント判事ニ依ル帰化法廷審問ノ
内田外務大臣宛 模様報告ノ件…………… 二三五

附屬書 弁護士シヨニボサム発日本人会宛書信写 …… 二三六
グラント判事ノ帰化法廷審問ニ関スル件

一九 六六四 六月 八日 六八 内田外務大臣ヨリ 東支鉄道ニ対スル融資ノ手続ニ関シ
在ヘルピン山内総領事宛(電 指示ノ件…………… 七六五
報)

九 一九八 六月 九日 公二六一 在ヴァンクーヴァー斎藤領事 B・C州新検事総長マンソンノ東洋
内田外務大臣宛 人排斥態度報告ノ件…………… 二三七

一五 三二七 六月 十日 一四三 在浦潮松村総領事ヨリ 浦潮新政府ノ首班トシテジトリクス
内田外務大臣宛(電報) 中将招致セラレシ件…………… 四一三

一五 三二八 六月 十一日 一四四 在浦潮松村総領事ヨリ ジトリクス中将浦潮政局ノ円満解決
内田外務大臣宛(電報) ノ予想、日露親善関係ノ増進ニ付上
田書記官ニ談話ノ件…………… 四一四

一一 二四〇 六月 十二日 一七 在サンパウロ藤田總領事ヨリ 補助移民六百名ノ残数ヲ本年内ニ輸
内田外務大臣宛(電報) 入方認可ヲ受ケシ旨海興支部ヨリ届
出ノ件…………… 三二二

一五 三一九 六月 十二日 一〇〇 在浦潮永井政務部長代理ヨリ ジトリクス將軍マルクローフ側ト談
内田外務大臣宛(電報) 判ノ結果同人ノ政權復帰ヲ決定ノ件…………… 四一四

一六 四三五 六月 十二日 松平欧米局長) 会談(二) 日本トノ交渉再開ヲチタ側希望ノ件…………… 五三一
アントローノフ)

一五 三三〇 六月 十三日 一〇一 在浦潮永井政務部長代理ヨリ ジトリクスガ治黒龍政府陸海軍總司
内田外務大臣宛(電報) 令官ニ任セラレタル上同政府領土内
全露国軍隊ニ発シタル布告報告ノ件…………… 四一五

一五	三三一	六月十三日	一四五	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジトリクス中将ノ浦潮政局解決ノ為 ノ措置振報告ノ件	四一六
一四	二八一	六月十六日	七三	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	現下露国ニ対シ我方ノ執ルベキ方策 ニ付意見稟申ノ件	三七六
一六	四三六	六月十六日	七三	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ政府ノミヲ相手トセズ莫斯科政 府ヲモ同列ニ置キ各種ノ問題ヲ解決 スルヲ以テ最善策トスベキ旨稟申ノ 件	五三四
八	一三八	六月十七日	公二四二	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	本邦漁業者ノ自由出漁ヲ非難セル沿 海州商工業會議所ノ決議文送付ノ 件	一六三
九	一九九	六月十七日	機密一三	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B・C州ニ於ケル排日對抗運動ニ付 詳細ノ件	二三八
一九	六六五	六月十七日	一四二	在ヘルピン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鉄道ヨリ五十万円緊急融資方申 出ニ付請訓ノ件	七六六
九	二〇〇	六月十八日	四一	在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東洋人移民排斥決議ニ関シカナダト 日本及中国トノ交渉結果承知シ度旨 下院議員首相ニ要求ノ件	二四六
一六	四三七	六月十九日		松平欧米局長(會談(三)) アントノフ	日本側及チタ側間交渉再開問題ニ関 連シ私的意見交換ノ件	五三七
八	一三九	六月二十一日	一五四	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	本年度露領沿岸漁業問題ニ関シメル クローフ政權ヨリ交渉再開方申出ノ 件	一六四
八	一四〇	六月二十一日		在函館竹村広吉ヨリ 古谷通商局長心得宛(電報)	ソスノワ蟹漁区附近ニバルチザン出 没ニ付保護請願ノ件	一六六
八	一四一	六月二十二日		在函館竹村広吉ヨリ 古谷通商局長心得宛	バルチザンノ危険防止ノ為警備艦派 遣方請願ノ件	一六六
八	一四二	六月二十二日	公一四八	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	本邦漁業者ノ自由出漁ニ対スル沿海 州村落經濟会ノ抗議訳文送付ノ件	一六九
一三	二七二	六月二十二日	君府 九十三	在君府桑木陸軍少佐ヨリ 参謀次長宛(電報)	露国国内ノ軍事情勢ニ関シ報告ノ件	三七〇
一六	四三八	六月二十三日		閣議決定	シベリア撤兵及チタ政府ノ日本トノ 交渉再開ニ関スルアントノフ提議 ニ対スル措置方針決定ノ件	五四一
八	一四三	六月二十四日	通監機密 四一九	古谷通商局長心得ヨリ 大角海軍省軍務局長、村上農 商務省水産局長宛	本年度露領沿岸漁業問題ニ関シメル クローフ政權ヨリ交渉再開方申出ノ 件	一七〇
八	一四四	六月二十四日	通監普通 九五九	村上農商務省水産局長、古谷 外務省通商局長心得ヨリ 前田露領水産組合組長宛	大正十年度借区料中未納分納入方延 期ニ関スル件	一七一
一六	四三九	六月二十四日		松平欧米局長(會談(四)) アントノフ	大連會議再開問題ニ関スル件	五四二
一八	六〇八	六月二十四日	合二四三	内田外務大臣ヨリ 各大使、各公使各領事、浦 塩政務部長宛(電報)	十月末迄ニシベリア派遣軍撤兵ニ関 シ宣言ノ件	七二二
一八	六〇九	六月二十四日	合二四四 (極秘)	内田外務大臣ヨリ 在米中国佐分利代理大使 在中國小幡公使 在浦潮永井政務部長代理宛 (電報)	西比利亞撤兵ニ関スル閣議及外交調 査会決議ノ件	七二三
一八	六一〇	六月二十四日		欧米局長談話	日本ノ西比利亞撤兵ニ関シ松平欧米 局長新聞記者ニ談話ノ件	七二五

附記一 六月七日附西比利亞撤兵ニ関スル陸軍省案

六月三十日附沿海州各地日本居留民聯合大会決議

一九 六六六 六月二十六日 七八 内田外務大臣ヨリ在ハルビン山内総領事宛(電報)

八 一四五 六月二十七日 一五〇五 高橋露領水産組合組長代理ヨリ在ハルビン山内総領事宛(電報)

八 一四六 六月二十七日 公一五二 在蒲潮松村総領事ヨリ内田外務大臣宛

一六 四四〇 六月二十七日 松平欧米局長(會談(五)アントノフ)

一 一六 六月二十八日 四二〇 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

一 二六 六月二十八日 四二一 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

一六 四四一 六月二十八日 二六九 在奉天赤塚總領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

一六 四四二 六月二十八日 一五五 在ハルビン山内総領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

別電 同日山内総領事發内田外務大臣宛電報第一五六号

一六 四四三 六月二十九日 三 内田外務大臣ヨリ在滿洲里田中領事代理宛(電報)

三 四三 六月三十日 一二八 在桑港矢田總領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

八 一四七 六月三十日 一六二 酒井露領水産組合組長ヨリ古谷通商局長心得宛

一五 三三二 六月三十日 一六二 在蒲潮松村總領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

七月

三 四四 七月一日 一二九 在桑港矢田總領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

四 五七 七月一日 四四 在ハルビン山崎總領事ヨリ内田外務大臣宛(電報)

一六 四四四 七月一日 八五 内田外務大臣ヨリ在ハルビン山内総領事宛(電報)

一 三 七月四日 四三五 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

一 四 七月四日 公三三九 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ内田外務大臣宛

東支鐵道ノ融資方申出ニ関シ回訓ノ件

露領沿岸漁業問題ニ関シ日露兩國關係者會談ニ関スル件

本邦人ノ自由出漁ニ関スル「ナリシヤ」レーチ」紙掲載ノ論評訳文送付ノ件

「ア」氏ヲタ婦國ニ際シ基本協約第十條、莫斯科代表者調印參加、武器引渡、交渉再開地等ニ関シ質疑応答ノ件

華盛頓州選出議員ジョンソン下院ニ提出ノ百分率ニ依ル永久的移民制限法案ニ付報告ノ件

ジョンソン移民制限法案ハ紳士協約ヲ廢棄スルモノナリトノ意見等ノ新聞報道ニ付報告ノ件

チタ政府ノ我國トノ交渉再開ニ對スル積極的態度ニ付田中副領事報告ノ件

日齊交渉再開ニ関スル齊多側希望ニ付石原通信員談話ノ件

チタ政府側ヨリ連絡アリシ場合ノ取次方ニ関シ訓電ノ件

加州外國人土地法違反トシテ告發セラレタル伊賀田ニ對スルソノマ郡上級裁判所ノ有罪判決報告ノ件

露領沿海州ニ於ケル漁業者保護ニ関シ請願ノ件

東京ニ於ケルメルクロフ派後援運動ニ付問合ノ件

矢野後見事件ニ関連スル矢野勝訴判決ニ對シ加州檢事總長大審院ニ上告ノ件

写真結婚婦人ニ對スル取扱振ニ関スル件

石原通信員ハチタニ帰還セシメ差支ナキ旨回訓ノ件

帰化權無キ外國人移民ノ入國ヲ禁止スル百分率ニ依ル移民制限法案第二案ヲジョンソン下院ニ提出ノ件

ジョンソンノ百分率ニ依ル移民制限法案第二案送附ノ件

附屬書 六月三十日提出ノジョンソン移民制限法案第二案……………三

四 五八 七月五日 公二九一 在ホノルル山崎総領事ヨリ 写真結婚婦人上陸時ノ取扱振ニ関シ 報告ノ件……………七二

四 五九 七月五日 通移普通 一、二、八、七 外務省通商局長ヨリ 北海道庁長官 警視總監 各宛 各府県知事 布哇行写真結婚婦人ノ取扱変更ニ件 フ措置振指示ノ件……………七三

二 二五九 七月六日 二五 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 白国ハ米國ニ先チ墨國承認ノ意思ナ シト同國公使談話ノ件……………三四九

一五 三三三 七月六日 一三三 内田外務大臣ヨリ 東京ニ於ケルメルクロフ後援問題 ニ関シ回報ノ件……………四一七

六 八三 七月七日 機密公 一、九 在桑港矢田總領事ヨリ 加州日本人問題解決ヲ目的トセル日 米有志ノ懇談会ノ模様報告ノ件……………九一

一六 四四五 七月七日 一、三三 在蒲潮永井政務部長代理ヨリ 日本軍ノ沿海州撤兵ヲ歓迎セルアン トノフノ談話ニ関スル新聞報道報 告ノ件……………五五〇

三 四五 七月八日 一三一 在桑港矢田總領事ヨリ 外国人ノ土地会社株式取得ニ関スル 地方裁判所ノ判決ニ対シ原告佐藤大 審院ニ上告ノ件……………六一

一六 四四六 七月八日 一七四 在ハルビン山内総領事ヨリ 日本トノ交渉再開方ヲ正式ニ提議セ ルチタ政府外相ノ覚書大要報告ノ件……………五五一

別電 同日山内総領事発内田外務大臣宛電報第一七五号 六月三十日附チタ政府外相ヤンソンヨリ内田外務大臣宛電報……………五五二

書ノ大要 鐵綿織物及毛織物ノ協定税率廃止ヲ 我方ヨリ提議ノ場合ニ於ケル英國側 ノ態度ヲ推測シ得ベキ材料並關係方 面ノ意向等電報方訓令ノ件……………一一一

七 九六 七月十日 二五六 内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛……………一一一

二 二六〇 七月十二日 機密公 一、二 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 米國ノ墨國承認問題其他ニ関シ報告 ノ件……………三四九

附記 最近ニ於ケル米國ノ墨國新政府承認問題……………三五〇

一六 四四七 七月十三日 九二 内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)……………五五三

一四 二八二 七月十四日 五五 佐藤海牙會議代表ヨリ 海牙會議露國代表リトヴィノフト伯 林ニ於テ会见シ差支無キヤ請訓ノ件……………三七九

一四 二八三 七月十五日 四六 在蘭国田付公使ヨリ 佐藤リトヴィノフ会见ハ慎重ナル考 慮ヲ要スル旨稟申ノ件……………三八〇

一六 四四八 七月十五日 一八七 在ハルビン山内総領事ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)……………五五三

一六 四四九 七月十七日 一〇〇 内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)……………五五四

一六 四五〇 七月十七日 一〇一 在ハルビン山内総領事宛(電 報)……………五五四

九 二〇一 七月十八日 公二〇三 在ヴァンクローヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛……………二四六

一六 四五二 七月十九日 一九六 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)……………五五五

一六	四五二	七月十九日	機密 一・二九	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	アントーノフ氏ヨリ松平局長宛回答 ニ関スル件	五五六
				附記 七月十九日附ガゲルストロムヨリ山内総領事宛書翰和訳文 右松平局長宛回答ヲ同局長ニ伝達方依頼越ノ件		五五六
一九	六六七	七月十九日	一九〇	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ニ関スルステーションズ書翰 ト之ニ対スル我方態度ニ付渡辺ニ対 シ鉄道省ヨリ訓令方稟請ノ件	七六八
				附記 七月二十二日渡辺技師ヨリ鉄道次官宛電報第二二八号 カムチャツカ岬漁区ニ関スル紛争調 停ノ件		七七〇
八	一四八	七月二十日	青島機密 六	特務艦青島艦長ヨリ 加藤海軍大臣宛(電報)	米國ヨリ婦来ノセメノフ長崎ヨリ天 津ニ向ヒタルニ付其動静注意方訓令 ノ件	一七六
一五	三三四	七月二十一日	六八	内田外務大臣ヨリ 在天津吉田総領事宛(電報)	チタ代表者ノ大連派遣方ニ関スル松 平局長ヨリアントノフヘノ伝言ヲ先 方ニ電送方ニ付指令ノ件	四一八
一六	四五三	七月二十一日	一〇六	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	沿海州ニ於ケル木材密輸出取締法案 裁可並浦潮政權ノ対日本人態度悪化 ニ付報告ノ件	五五七
八	一四九	七月二十二日	一八四	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮政府外交部長ノ米露關係ニ関ス ル意見新聞紙掲載ニ付大要報告ノ件	一七六
一五	三二五	七月二十二日	二四	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	露國勞農政府ニ対スル日本政府ノ態 度ニ関シ心得置クベキ事項ニ付請訓 ノ件	四一八
一六	四五四	七月二十二日	四七	在蘭国田付公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鐵道管理撤廢提議ニ関スル件	五五七
一九	六六八	七月二十二日		在本邦米國大使館ヨリ 内田外務大臣宛	日露交渉再開ニ関スル最近チタ新聞 ノ論調報告ノ件	七七一
八	一五〇	七月二十四日	三二一	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	勞農露國外務人民委員チチェリン伯 林ニ在リテ広ク海外避難ノ露人反過 激派領袖懷柔ニ努力シ居ル旨ノ情報 報告ノ件	一七七
一三	二七三	七月二十五日	二〇六	在瑞典国畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ホルワット浦潮行ニ付意見ヲ求メ尚 日本ノ西比利亞撤兵ニ関シ意見交換 ノ件	三七〇
一八	六一一	七月二十五日	五三七	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	桑港ニ於ケル選挙情勢報告ノ件	七一八
四	七五	七月二十七日	一三八	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日齊會議ノ開始期日ニ関シ至急確答 方チタ代表者ニ申入ルベキ旨訓電ノ 件	八一
一六	四五六	七月二十七日	一一三	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	日齊交渉ヘノソヴイエト政府ノ参加 問題ニ関スル我方針ニ付指示ノ件	五五九
一六	四五七	七月二十七日	二九	内田外務大臣ヨリ 在蘭国田付公使宛(電報)	第三回沿黒龍地方會議ニ於ケルメル クローフ演說中日本ニ關係アル部分 報告ノ件	四二〇
一五	三二六	七月二十八日	一三一	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日齊交渉開始期日ニ関シ確答方チタ 代表者ニ申入レタル旨報告ノ件	五五九
一六	四五八	七月二十八日	二二〇	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	写真結婚ニ対スル米國勞働省ノ見解 ニ付報告ノ件	五六〇
四	六〇	七月二十九日	四九〇	在米國佐分利臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)		七四

一六	四五九	七月二十九日	二二四	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日齊交渉開始ニ関スル勞農政府及チ タ政府双方代表者ヨリ日本外務大臣 宛書翰ヲ送付ノ件	五六〇
一六	四六〇	七月二十九日	二二一	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヨッフエノ極東向ケ出発ニ関スル情 報ニ付報告ノ件	五六一
一六	四六一	七月二十九日	一三六	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	勞農露国及極東共和国兩政府代表者 ヨリ日本外務大臣宛書翰原文送付ノ 件	五六一
附記 右書翰和訳文						
一六	四六二	七月三十一日	一一五	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	日齊會議開始期日ニ付先方ノ確答督 促方並會議地其他ニ付申入方ニ関シ 訓令ノ件	五六二
八月						
八	一五一	八月一日	一八四五	村上水産局長及永井通商局長 ヨリ 酒井露領水産組合組長宛	露領出漁者取締ニ関スル件	一七八
一六	四六三	八月一日	官房機密 一三二 一三二	井出海軍次官ヨリ 壇原外務次官宛	日齊會議へ海軍武官派遣ニ関スル件	五六三
四	六一	八月二日	二八	内田外務大臣ヨリ 在ホノルル山崎総領事宛(電 報)	写真結婚婦人ノ取扱ニ関スル件	七四
一	五	八月三日	四三二	内田外務大臣ヨリ 在米國佐分利臨時代理大使宛 (電報)	ジョンソン移民制限法案ノ帰化權ニ 関スル差別待遇ハ日米通商條約違反 ナルニ付右字句削除配慮方訓令ノ件	一七
八	一五二	八月三日	一七四八	酒井露領水産組合組長ヨリ 村上農商務省水産局長、永井 外務省通商局長宛	露領沿岸漁業問題ニ関スルグリゴリ エフノ意見書ニ対シメルクローフ政 権ヨリ回答到着ノ件	一七八
一六	四六四	八月三日	二二九	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ政府側ノ日齊會議再開ニ対スル 意向ニ関シアントノフノ為セル雜 談ヨリ得タル感想ニ付報告ノ件	五六四
六	八四	八月四日	機密公 二四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	日米有志懇談会第四回会合ニ於ケル 日米調査委員会ノ組織提議ニ付報告 並日本人問題ニ対スル我政府ノ方針 ニ付請訓ノ件	九三
一八	六一二	八月五日	公三六六	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	齊多政府管内ニ於テ日本ノ駐兵ヨリ 蒙レル損害額調査ニ関スル件	七一九
一六	四六五	八月七日	二二六	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	會議開催地ニ関スル日本側新提案ニ 対シチタ側不満ノ旨石原ヨリ電報ノ 件	五六五
八	一五三	八月八日	一七五九	酒井露領水産組合組長ヨリ 内田外務大臣宛	サガレン州内大陸方面ヨリノ撤兵後 ニ於ケル本邦漁業者及權益保護ニ付 配慮方請願ノ件	一七九
一一	二四一	八月八日	二〇	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外國移民私底ニ依ル日本移民ノ需要 増加ノ件	三二三
一九	六六九	八月八日		閣議決定	米國政府ノシベリア鐵道管理撤廢提 議ニ対スル我回答書案ニ付請議ノ 件	七七四
附記 七月二十八日附外務省亜細亞局意見書						
東支鐵道ニ關スル日本政府ノ方針						
……………七七七						
一五	三二七	八月九日	一三九	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	八月八日夜公開ノ地方會議ニ於テメ ルクローフト新頭領ジトリス將軍 トノ間ニ政權授受ノ件	四二〇

一六 四六六 八月九日 松平欧米局長(電報) 大連會議打切後ノ日本側及チタ側間ノ商議再開ノ為ノ善後措置ニ関スル件 五六五

附記 右松平局長及アントノフ間會談ニ関連シテ為サレタル考察 五六九

一五 三二八 八月十日 在浦潮永井政務部長代理ヨリ 命令シ並旧首班メルクコロフヲ米國駐在代表者ニ任命等ノ件 四二一

一六 四六七 八月十日 在ハルビン山内総領事ヨリ 在ハルビン及ヤンソンヨリ内田外相宛カラハン及ヤンソンヨリ内田外相宛書翰送付ノ件 五七〇

附記 右書翰和訳文 五七一

一六 四六八 八月十日 在ハルビン山内総領事ヨリ 日齋會議再開ノ時日及場所等ニ関シカラハン及ヤンソンヨリ申越ノ件 五七二

一六 四六九 八月十日 在ハルビン山内総領事ヨリ 日露會議再開問題ニ関スルアントノフノ談話報告ノ件 五七二

一七 五八三 八月十日 在浦潮永井政務部長代理ヨリ 米國政府ハ齊多及ブラゴエシチェンスク方面ニ対スル米國通商發展ノ可能性調査ノ件 六九三

一五 三二九 八月十一日 在奉天赤塚総領事ヨリ 滿洲里ニ於テ中國官憲ガ齊多側ノ抗議ニ依リ反過激派ヲ取締ノ件 四二一

一六 四七〇 八月十二日 内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電報) ヨッフエノ任務其他ニ付内探方指令ノ件 五七四

一六 四七一 八月十二日 内田外務大臣ヨリ 基本協定調印ノ日限延期及會議地ニ関スル覚書ヲオザルニンニ交付シチタニ電送スル様申入方訓令ノ件 五七四

一九 六七〇 八月十二日 在中國小幡公使ヨリ 東支鐵道社債發行ニ関シ露亜銀行代表者ヨリ四國銀行代表者ニ対シ援助要請ノ件 七七九

附屬書 正金銀行支店發頭取宛通信寫 七七九

一六 四七二 八月十四日 在ハルビン山内総領事ヨリ 基本協定調印ノ日限延期及會議地ニ関スル訓令執行済ノ件 五七五

一六 四七三 八月十五日 松平欧米局長(電報) 日齊會議再開ノ場所ニ関シ意見交換ノ件 五七六

一九 六七一 八月十六日 在本邦米國大使ヨリ 聯合國鐵道監理協定廢止及日本軍撤兵後ノ東支鐵道問題ニ関シ申越ノ件 七八三

一 六 八月十八日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ 下院移民制限委員會ニ於テシイゲル委員ノ説キタル紳士協約改訂ニ依ル日本移民制限必要論ニ付報告ノ件 一八

一二 二六一 八月十八日 在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 米國ノ墨國承認ニ関スル紐育通信記報ノ件 三五二

一九 六七二 八月十八日 在中國小幡公使ヨリ 日本軍撤退後ノ東支鐵道ノ管理体制ニ関シ山内總領事ヨリ吉田ニ対スル内話報告ノ件 七八五

一二 二六二 八月十九日 在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 米國ノ墨國承認ハ悲觀的ナル旨ノ情報報告ノ件 三五四

一九 六七三 八月十九日 芳沢亞細亞局長(電報) 東支鐵道借款問題ニ関シ日本側ノ援助要請ノ件 七八六

一 七 八月二十二日 機密公 在桑港矢田總領事ヨリ 桑港ワーレン、ライダ氏ノ質問ニ対スル日本人帰化權問題ニ関スルジソンノ回答要旨報告ノ件 一八

一〇 二二七 八月二十二日 機密公 一四 在シドニー鈴木総領事ヨリ
内田外務大臣宛

クウインズランド州ニ於ケル製糖工場ヘノ日本人労働者雇傭制限判決ニ関スル交渉往復書簡類送付及今後ノ見通等ニ付詳報ノ件……………二七一

附屬書一 五月三十一日附鈴木総領事ヨリクウインズランド州首相宛書簡……………二七四

二 六月九日附クウインズランド州首相ヨリ鈴木総領事宛書簡……………二七六

三 六月二十八日附クウインズランド州首相ヨリ鈴木総領事宛書簡……………二七六

四 六月十六日附クウインズランド州産業仲裁裁判所所長ヨリ同州首相宛書簡……………二七七

五 八月二日附ピーデン氏意見書……………二七八
聯合国鉄道監督協定廃止及東支鉄道問題ニ関シ回答ノ件……………二七七

一九 六七四 八月二十二日 機密 一一五 内田外務大臣ヨリ
在本邦米國大使宛

一五 三三〇 八月二十三日 一四九 在蒲潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四七四 八月二十四日 官房機密 一二二八 井出海軍次官ヨリ
植原外務次官宛

一六 四七五 八月二十四日 二五七 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

六 八五 八月二十五日 機密公 三一 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛

一六 四七六 八月二十五日 一三七 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)

一六 四七七 八月二十五日 二五九 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四七八 八月二十五日 六〇〇 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一 九 八月二十六日 五五六 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四七九 八月二十六日 一三八 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)

一六 四八〇 八月二十六日 二七〇 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八一 八月二十六日 二七四 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

附記 八月二十六日附オザルニンヨリ山内総領事宛書翰和訳文……………五八七

附記 松平欧米局長及松嶋総領事ノ権限ニ関スル八月二十九日附證明書……………五八九

一六 四八二 八月二十八日 一四二 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)

一六 四八三 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八四 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八五 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八六 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八七 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八八 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四八九 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九〇 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九一 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九二 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九三 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九四 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六 四九五 八月二十八日 五九 在長春山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一六	四八四	八月二十九日	閣議決定	長春會議代表ニ対スル日本政府ノ訓令	五九〇
一六	四八五	八月二十九日	閣議決定	尼港事件解決ニ関スル件	五九四
一六	四八六	八月二十九日	六二	チタ政府側ノ対日態度ニ関スル河上清ノ談話ニ付報告ノ件	五九七
一六	四八七	八月二十九日	二八五	武器引渡問題其他ニ関シチタ政府外相ヤンソントノ意見交換ニ付報告ノ件	五九八
一九	六七六	八月二十九日	在本邦米國大使館ヨリ 日本外務省宛	聯合國ノ鉄道監理協定ノ廃止ニ関スル日米兩國間往復文書ノ公表方申込ニ対シ回答ノ件	七九一
一六	四八八	八月三十日	五九五	長春會議ニ関スルカメネフノ談話報告ノ件	五九九
一六	四八九	八月三十日	六〇六	國際通信ノ古野ノ質問書ニ対スルヨッフエノ答弁書ニ付報告及稟請ノ件	六〇〇
四	七六	八月三十一日	一五九	加州共和党予備選挙ノ大勢報告ノ件	八二
一六	四九〇	八月三十一日	六〇九	中国外交総長ヨリ長春會議ニ関シ質問アリ一応答弁シ置キタルニ付報告ノ件	六〇一
一九	六七七	八月三十一日	在本邦米國大使館ヨリ 日本外務省宛	聯合國ノ鉄道監理協定ノ廃止ニ関スル日米兩國間往復文書公表方申込ニ対シ再回答ノ件	七九一

九月

一六	四九一	九月二日	在本邦中国臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ニ関シ申越ノ件	六〇二
一六	四九二	九月二日	二	尼港撤兵善後処理ニ関シ請訓並書類送付方稟請ノ件	六〇三
一六	四九三	九月二日	六七	松平代表一行長春到着ノ件	六〇三
一六	四九四	九月二日	四三七	ヨッフエ一行ノ人名報告ノ件	六〇四
四	一七七	九月三日	一六一	加州共和党予選結果ヲ排日問題ニ関連シテ考察ノ件	八二
一六	四九五	九月三日	陸軍次官ヨリ 在滿潮野戰交通部長宛(電報)	長春會議ニ於ケル露國側代表ヘノ通信上ノ便宜供与ニ関スル件	六〇四
一六	四九六	九月四日	四	ヨッフエ一行長春到着ノ件	六〇五
一六	四九七	九月四日	五	各代表出揃ヒタルニ付會議開催ノ時日等ニ関シ協議ノ件	六〇五
一六	四九八	九月四日	公信一	長春會議ロシア側委員氏名報告ノ件	六〇五
一五	三三一	九月五日	二五五	沿黒龍地方ノ近情等ニ関スルジトリクスノ談話等杉野領事ヨリ報告ノ件	四二三
一六	四九九	九月五日	六	長春會議各代表間ニ於テ會議ノ場所會議録及會議公表ノ諸問題ニ関シ打合セタル件	六〇六
一	五〇〇	九月五日	七	協定当事者トシテノ聯代表ノ資格問題ニ付請訓ノ件	六〇七

一六 五〇一 九月五日 三 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛 (電報)

協定当事者ノ一方ヲ極東共和国及勞
農露国トセラレ差支ナキ旨回訓ノ件 …… 六〇八

一九 六七八 九月五日 四九二 内田外務大臣ヨリ
在米國佐分利臨時代理大使宛
(電報)

六月二十七日成立ノ東支南滿兩鐵道
間運賃協定ノ大要ニ付通報ノ件 …… 七九二

一六 五〇二 九月六日 九 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

長春會議代表者双方ノ帶有スル委任
状及其權限ニ関スル討議ノ模様ニ付
報告ノ件 …… 六〇八

一六 五〇三 九月六日 号外 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛 (電報)

押収武器引渡問題ニ関スル參謀本部
側ノ意見ニ付通報ノ件 …… 六一〇

一六 五〇四 九月六日 一〇 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

會議ノ目的ニ関シ双方代表者間ニ見
解ノ相違アルニ付各本國政府ニ請訓
ノ為暫時休会トスル旨新聞発表ノ件 …… 六一〇

一六 五〇五 九月六日 四 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛 (電報)

長春會議關係新聞係トシテ笠間事務
官派遣ノ件 …… 六一一

一六 五〇六 九月六日 四二 在羅國西公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

長春會議ニ対スルカーメネフノ見解
報告ノ件 …… 六一一

八 一五四 九月七日 二六〇 在蒲湖松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

日本人漁場保護ノ為ノ軍艦派遣布告
ニ対シ露國側ヨリ申越ノ件 …… 一八〇

一六 五〇七 九月七日 一一 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

笠間事務官ヲ長春ニ急派方回電ノ件 …… 六一二

附記 九月八日附警視總監ヨリ外務省歐米局長宛外秘乙第二七六
号 日齊會議ニ派遣ノ新聞雜誌記者ニ就テ …… 六一二

一六 五〇八 九月七日 一二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

會議ノ目的等ニ関シ双方代表者間ニ
見解ノ相違アリタルニ依リ暫時休会
トセラレタル事情詳報ノ件 …… 六一三

一六 五〇九 九月七日 一三 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六一五

一九 六七九 九月八日 外壬字 在本邦中国臨時代理公使ヨリ
六二 内田外務大臣宛 …… 七九三

一六 五一〇 九月九日 機密公一 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 …… 六一五

一六 五一一 九月十日 一八 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六二〇

一六 五一一 九月十一日 一九 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六二一

一六 五二二 九月十一日 一九 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六二一

一六 五二三 九月十一日 機密公二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 …… 六二一

附屬書 右覚書(英文)写 …… 六二二

一六 五二四 九月十一日 二二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六二八

一六 五二五 九月十一日 二二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六三一

一六 五二六 九月十一日 二三 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 六三二

一六 八六	九月十二日	機密公 三二	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	日米有志懇談会第六回会合ニ於テ各 出席者日本人問題解決案提出ノ件	九六
一五 三三二	九月十二日	合二九七	内田外務大臣ヨリ 在長春山崎領事宛(電報)	在浦潮チュッコ軍武器ハバロフスク ヘ移動ニ付実情通報ノ件	四二三
一六 五二七	九月十二日		閣議決定	我方ノ極東共和国政府トノ基本協定 調印及勞農政府トノ通商協定締結交 渉問題ニ関スル松平代表宛訓令案ニ 付請議ノ件	六三二
一六 五一八	九月十二日	二四	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ニ対スル中国側ノ関心ニ付 報告ノ件	六三三
八 一五五	九月十三日	六四	在ベトロバウロフスク島田領 事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	当地政情不安ニ鑑ミ軍艦ノベトロ港 冬營方稟請ノ件	一八〇
一五 三三三	九月十三日	一五九	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在浦潮チュッコ軍武器ヲハバロフス クヘ移動ニ関シ日本陸軍側ノ態度ニ 付報告ノ件	四二四
一五 三三四	九月十三日	一六一	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日米歐ニ向ケ出発前メルクローフガ 永井領事ニ漏シタル今回ノ出向ノ目 的ニ付報告ノ件	四二五
一六 五一九	九月十三日	二六	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	協定締結ノ当事者ニ関シ妥協点発見 ノ為會議継続ノ件	六三三
一六 五二〇	九月十三日	公信 四五四	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	長春會議ニ関スルヤンソン氏夫人ノ 執筆記事露字紙ニ掲載ニ付報告ノ件	六三四
一三 二七四	九月十四日	公四六〇	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	勞農露国承認運動ニ関シ外務人民委 員代理ヨリ在外代表者ヘノ内訓訳報	三七一
一五 三三五	九月十四日	一六二	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮政權ノジトリクス將軍ハ著々赤 軍掃蕩ノ形勢ナル旨報告ノ件	四二五
一六 五二一	九月十四日	二七	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	協定締結ノ当事者ノ一方ヲ勞農露国 及極東共和国トシ其適用範圍ヲ極東 共和国ノ領土ニ限ルトスル案ニ依リ 會議継続ノコトトナレル旨報告ノ件	六三五
一六 五二二	九月十四日	二九	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本軍撤兵善後措置及基本協定条文 作成上ノ形式ニ関シ審議セル件	六三七
一六 五二三	九月十五日	四	在滿洲里田中領事代理ヨリ 在長春山崎領事宛(電報)	長春會議ニ対スルチタ政府側ノ新聞 論調ニ付報告ノ件	六三七
一六 五二四	九月十五日	三〇	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	基本協定ノ前文ニ関スル我方提案及 先方提案ニ付報告並請訓ノ件	六三八
一六 五二五	九月十五日	一六	内田外務大臣ヨリ 在長春松平代表宛(電報)	別 電一 同日松平代表發内田外務大臣宛電報第三一號	六三八
一六 五二六	九月十五日	三四	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	二 同右電報第三二號	六三九
一六 五二七	九月十五日	三五	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	協定前文ノ案文ニ付回訓ノ件	六三九
六 八七	九月十六日	通移機密 一三	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田總領事宛	協定ノ各条項中ニ記載スベキ当事者 ノ問題ニ関シ妥協成立セザル狀況報 告並請訓ノ件	六四〇
一六 五二八	九月十六日	三六	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	協定ノ当事者問題ニ関シ先方ノ強硬 態度維持ノ理由ニ関スル件	六四一
一六 五二九	九月十六日	三七	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本人問題ニ関スル政府方針及交渉 内容内示方稟請ニ対シ回訓ノ件	九九
				大連案ヲ基礎トシテ逐条審議ヲ行ヒ タル模様ニ付報告ノ件	六四二
				九月十六日ノ會議休会方先方ヨリ申 出ノ件	六四三

一六 五三〇 九月十六日 三八 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 我実業家ノ露国側出入ハ未ダ其時機
ニ非ザル件 六四三

一六 五三一 九月十六日 一八 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛(電報) 大連案第五条ノ文言ニ関シ訓電ノ件 六四三

別電 同日内田外務大臣発松平代表宛電報第一九号

大連案第五条ニ関スル我方修正文言 六四三

一六 五三二 九月十六日 四〇 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ロシア側ガ撤兵問題ノ先議ヲ申出デ
タルニ対シ我方ハ基本協定ヲ先議ス
ベキ旨答ヘタル件 六四四

一六 五三三 九月十六日 欧一普通
二六 内田外務大臣ヨリ 長春會議ニ関スル申越ニ対シ回答ノ
件 六四四

一八 六一三 九月十六日 二〇 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛(電報) ニコライエフスク撤兵善後処置ニ関
シ回訓ノ件 七二〇

一八 六一四 九月十六日 公四七二 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛 極東共和国管内ニ於ケル最近ノ軍事
状況報告ノ件 七二一

一九 六八〇 九月十六日 機密
一九 内田外務大臣宛 蒙古及東支鉄道問題等ニ関シ中ソ間
ニ北京會議開催セラルヘシトノ報道
ニ付報告ノ件 七九四

一九 六八一 九月十六日 二二 在蒲潮堀政務部長ヨリ
在長春松平代表宛(電報) スチーヴンスノチタ出張ニ関シ鉄道
委員會議長カチエンコノ談話報告及
請訓ノ件 七九五

一六 五三四 九月十七日 四二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ロシア側ガ新聞記者団ヲ招待セシ晩
餐会ノ前後ニ於テヨッフエ及ヤンソ
ンノ川上及笠間ニ対シ為シタル内話
ニ付報告ノ件 六四五

一六 五三五 九月十七日 七 在満州里田中領事代理ヨリ
在長春山崎領事宛(電報) 長春會議ニ対スルチタ各方面ノ態度
ニ関スル情報申報ノ件 六四六

一六 五三六 九月十七日 四三 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 會議遷延ニ関シレーウインノ島田ニ
対スル内話報告ノ件 六四七

一六 五三七 九月十七日 四四 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ロシア側ヨリ會議休会ヲ申出デシ事
情ニ関スル観測申報ノ件 六四七

一九 六八二 九月十七日 機密
四二二 在中國小幡公使ヨリ 東支鉄道技術委員會ノ存続問題ニ関
シ率先發議セザル旨仏国公使ノ吉田
ヘノ内話報告ノ件 七九六

一五 三三六 九月十八日 一七〇 在蒲潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ジトリクス張宗昌ニ答札ノ為ボグラ
ニチナヤニ至リ張側ト懇談シ尚張作
霖等ニ電報挨拶ノ件 四二六

一六 五三八 九月十八日 二二 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛(電報) 協定ノ各条項ニ於テ勞農及極東共和
国ヲ当事者トシテ明記スル場合ニ関
シ回訓ノ件 六四八

別電 同日内田外務大臣発松平代表宛電報第二二号

右場合ニ対スル措置案 六五〇

一六 五三九 九月十八日 四七 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 第五条以下ノ逐条審議ノ模様ニ付報
告及請訓ノ件 六五〇

一六 五四〇 九月十八日 機密
四二三 在中國小幡公使ヨリ ヨッフエ一行ニ関スルザルツマン報
告写送付ノ件 六五二

一七 五八四 九月十八日 二三 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛(電報) 西比利亞ノ材木及鉱山等ノ利權ニ関
スル齊多政府ト米国人側トノ話合進
行中ナリトノ報道通報ノ件 六九四

一五 三三七 九月十九日 一七二 在蒲潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 蒲潮方面現下ノ政情及将来ノ見通ニ
付報告ノ件 四二六

一六 五四一	九月十九日	四八	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第十条ニ関スル討議ノ情況ニ付報告 ノ件……………六五六
一六 五四二	九月十九日	四九	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	協定ノ当事者問題ニ関スル日本案ニ 対スルヨッフエノ反応ニ付報告ノ件 ……………六五七
一六 五四三	九月十九日	五〇	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	會議ニ於ケルヨッフエノ態度ニ鑑ミ 交渉打切ヲ得策トスル旨稟申並請訓 ノ件……………六五八
一六 五四四	九月二十日	五一	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	會議休会ニ関スル公表文討議ニ付報 告ノ件……………六六〇
一六 五四五	九月二十日	八四	在長春山崎領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ニ関スルチタ新聞論調ニ付 報告ノ件……………六六〇
一六 五四六	九月二十日	五二	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連案基本協定第一条ニ関シ勞農政 府トノ間ニ文書ヲ以テ協定方ニ付請 訓ノ件……………六六一
一六 五四七	九月二十一日	二四	内田外務大臣ヨリ 在長春松平代表宛(電報)	基本協定第六条ノ案文ニ関シ回訓ノ 件……………六六一
一六 五四八	九月二十一日	二五	内田外務大臣ヨリ 在長春松平代表宛(電報)	基本協定第一条ニ関シ文書ヲ以テセ ラレ差支ナキ旨回訓ノ件……………六六二
一六 五四九	九月二十一日	五三	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ロシア側ハ會議延期又ハ打切ノ口実 ヲ日本ノ薩哈噠駐兵ニ求メントスル ヤニ思ハルル旨稟申ノ件……………六六二

別電 同日松平代表發内田外務大臣宛電報第五四号
ロスタ通信要領

……………六六三

一八 六一五	九月二十一日	一七五	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	「ボルデイリヨフ」將軍ノ浦潮政局 觀及浦潮労働界ノ重鎮「バトウリン」 ノ語レル日本ノ撤兵ニ関スル浦潮労働 界ノ意向ニ付報告ノ件……………七二二
六 八八	九月二十二日	一八一	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日米有志懇談会ニ対スル國務省極東 課長ノ見解報告ノ件……………一〇〇
六 八九	九月二十二日	機密公 三八	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	日米有志懇談会第七回会合ニ於テ 一般移民ノ禁止及紳士協約ノ修正等 ニ付意見一致ノ件……………一〇一
七 九七	九月二十二日	三二六	内田外務大臣ヨリ 在英国園林大使宛(電報)	日英関稅協定問題ノ調査結果至急電 報方在倫敦總領事ヘ伝達依頼ノ件 ……………一一二
一六 五五〇	九月二十二日	五六	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第一条ノ適用範圍及北樺太駐兵問題 ニ関スルレウインノ島田ニ対スル 談話報告ノ件……………六六三
一六 五五一	九月二十二日	二四五	在瑞典園畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ニ関スルデックノ論評報告 ノ件……………六六五
一六 五五二	九月二十三日	五八	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	二十三日朝レウイン島田ヲ來訪シ テ尼港事件ニ関スル莫斯科政府ノ回 訓内容ヲ伝フルト共ニヨッフエノ真 意ニ付内話ノ件……………六六五
一六 五五三	九月二十三日		閣議決定	基本協定ノ適用範圍等ノ問題ニ関シ 露国側ニ於テ我主張ヲ拒絶スル場合 ニハ會議ヲ打切リ引揚グベキ旨松平 代表宛訓電ニ付請議ノ件……………六六七
一六 五五四	九月二十三日	六一	在長春松平代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ロシア側ヨリ本国政府ノ回訓ヲ提示 及會議ノ決裂決定トナリシ形勢ニ 付報告並請訓ノ件……………六六八

一六 五五五 九月二十三日 機密公三 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛

二十三日ノ會議ニ於テロシア側ヨリ
提出ノ声明書送付ノ件……………六六九

一六 五五六 九月二十三日 六二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

交渉打切ニ関シ最後ノ訓令稟請ノ件……………六七一

一六 五五七 九月二十三日 六三 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ヨッフエノ北樺太駐兵非難ニ対シ事
態ヲ闡明シ置キタル件……………六七一

一六 五五八 九月二十三日 六五 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露国委員ニ於テ晚餐會ニ招待セル中
国側賓客十数名ガ右招待ヲ謝絶シタ
ル件……………六七二

一六 五五九 九月二十四日 六六 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露国ノ委員ノ招待ヲ中国側謝絶ノ理
由ニ付王鴻年ノ笠間ニ対スル内話報
告ノ件……………六七二

一 八 九月二十五日 一八三 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米国下院ニ附議セラルベキジョン
ソンノ百分率ニ依ル移民制限法案ヲ報
道セル新聞記事報告ノ件……………一九

二 一五 九月二十五日 二二六 在紐育熊崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

山下、河野煇化訴訟判決ノ見通ニ関
スル弁護士ノ談話要領報告ノ件……………二四

一五 三三八 九月二十五日 一八〇 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ポグラニチナヤニ於ケル張宗昌トジ
トリクス等トノ會談ノ意図ニ関シ在
浦潮中国總領事ノ談話報告ノ件……………四二八

一六 五六〇 九月二十五日 二八 内田外務大臣ヨリ
在長春松平代表宛(電報)

會議決裂ノ場合ハ其實專ラ先方ニ在
ル旨ヲ申入レ置ク様回訓ノ件……………六七二

一六 五六一 九月二十五日 六八 内田外務大臣宛(電報)

二十五日午後ノ會議ニ於テ最後ノ交
渉ヲ試ミルベキ件……………六七三

一六 五六二 九月二十五日 七〇 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

長春會議ノ決裂ニ際シ日本政府ノ声
明公表ノ件……………六七三

一六 五六三 九月二十五日 七一 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

會議決裂ノ旨報告ノ件……………六七七

一六 五六四 九月二十五日 七二 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我方ノ會議打切及引揚ニ関スル声明
並ヨッフエノ陳述ニ付報告ノ件……………六七七

一八 六一六 九月二十五日 一八五 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

渡辺領事ニ対シテ過激派激戰ノ成功ニ
ハ日本側ノ援助ヲ必要トスル旨「オ
コロコフ」談話ノ件……………七二三

一六 五六五 九月二十六日 三二 内田外務大臣ヨリ
在長春松平・松島兩代表宛
(電報)

會議ニ於ケル兩代表及諸官ノ努力ニ
対シ表謝ノ件……………六八〇

一六 五六六 九月二十六日 七四 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我代表一行ハ三十日大連發バイカル
丸ニテ帰朝ノ旨報告ノ件……………六八〇

一六 五六七 九月二十七日 七五 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

會議決裂ニ関シ露国側ハ二十七日公
表文ノ發表ノ件……………六八〇

一六 五六八 九月二十七日 七六 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

長春會議決裂ノ際ニ於ケル内田外務
大臣ノ声明……………六八一

一六 五六九 九月二十八日 七六 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ヤンソンハ其秘書ヲシテ島田ヲ來訪
挨拶セシメタルニ付當方ヨリモ島田
ヲ遣シ答礼セシメタル件……………六八二

一六 五七〇 九月二十八日 七七 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

最終會議開催前ノ雰囲氣並宮川島田
等ガ露国委員ト非公式會談ヲ試ミ探
リ得タル先方ノ内幕ニ付報告ノ件……………六八二

一六 五七一 九月二十八日 七八 在長春松平代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

本官出發挨拶ノ為島田ヲヨッフエ方
ニ遣シ同氏ハ答礼ノ為クズネツォフ
ヲ當方ニ遣シタルガ右「ク」ノ島田ニ
対シ為セル私談報告ノ件……………六八三

別電 同日松平代表發内田外務大臣宛電報第七三三號……………六七九

附録 日本外交文書 大正十一年 第一冊 日附索引

五九

一六 五七二	九月二十九日	九一	在長春山崎領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	松平代表一行二十八日長春出發ノ件……………六八四
一六 五七三	九月二十九日	六六二	在公国佐藤臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議ノ決裂ニ関シカラハンノ紐 育ヘラルド通信員ニ対スル談話報告……………六八四 ノ件
一一 二四二	九月三十日	通公五七	在パウルー多羅間領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	伯国学齡兒童數及就學兒童數一覽表……………三二三 進達ノ件
一五 三三九	九月三十日	二〇五	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮政權ヨリ日本政府トノ間ニ露領 極東ニ於ケル諸問題ノ解決方希望ヲ……………四二九 申出ノ件

十月

一 一〇	十月二日	五三八	内田外務大臣ヨリ 在米國佐分利臨時代理大使宛 (電報)	ジョンソン提出ノ百分率ニ依ル移民 制限法案第二案ノ成行至急回電方訓電……………二一 ノ件
一三 二七五	十月二日	一一三	在波蘭國川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	勞農露国外務人民委員チチェリンノ ワルソフ訪問ニ関シ報告ノ件……………三七二
一五 三四〇	十月四日	二二六	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジトリクスノ杉野領事ニ対スル時局 ニ関スル談話報告ノ件……………四三〇
一五 三四一	十月四日	二二七	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮市長日本へ出發ノ前日來訪渡日 ノ目的等ニ付語リ又立花軍司令官ニ……………四三一 七百挺ノ銃器下附ヲ要請ノ件

一 一一	十月五日	六三九	在米國佐分利臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソン提出ノ百分率ニ依ル移民 制限法案第二案ノ成行ニ付回電ノ件……………二一
九 二〇二	十月五日	公二七八	在ヴァンクローヴァー齋藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B・C州閣令確認法ニ関スル加奈陀 大審院ノ裁決ニ付英國枢密院ニ上訴 ノ費用日本人会ニ於テ一部負担ノ 件……………二四七
一五 三四二	十月五日	外秘乙 三三九	警視總監ヨリ 外務省欧米局長宛	過激派アントノフ及反過激派グリゴ リエフノ活動ニ関スル件……………四三二
一六 五七四	十月五日	関機高取 一三八一 五ノ一	岸本関東庁警務局長ヨリ 植原外務次官宛	長春會議ノ決裂ニ関シヤンソンノ洩 セル感想報告ノ件……………六八五

二 一六	十月六日	六四四	在米國佐分利臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	小沢、山下帰化事件大審院ニ於テ弁 論終結ノ件……………二四
一六 五七五	十月六日	一一五	在波蘭國川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議決裂ニ関シラデックノ露國 新聞紙上ニ於ケル日本非難等ニ付報 告ノ件……………六八六
一六 五七六	十月七日	三八九	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	長春會議決裂ノ責任ヲ日本軍國主義 者ニ歸セシメントスル極東共和国側 ノ宣伝活動ニ付報告ノ件……………六八七

一九 六八三	十月七日	二三〇	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯合國ノ鉄道管理委員會ノ終了手續 ニ関スル討議報告ノ件……………七九六
附記	十月六日		關係各省間協議ノ件……………七九七	

一八 六一七	十月八日	二三九	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮潜伏ノ赤軍側代表二名ガ渡辺領 事ニ赤軍優勢ノ状況ヲ説明シ日本側 ノ態度ヲ問質ノ件……………七二四
--------	------	-----	---------------------------	----------------------------------------------------------

一五 三四三 十月九日 二四六 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一八 六一八 十月九日 合三一九 内田外務大臣ヨリ
在米國佐分利臨時代理大使、
在中國小幡公使及在浦潮堀政
務部長各宛(電報)

一八 六一九 十月九日 二四八 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

六 九〇 十月十三日 機密公
四五 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛

七 九八 十月十三日 在本邦米國大使館附商務官ヨリ
永井通商局長宛

附記 右問合ニ対スル回答案……………一一三

一八 六二〇 十月十三日 閣議決定
浦潮方面在任朝鮮人ノ引揚ニ対スル
援助ニ関スル件……………七二八

一五 三四四 十月十四日 二六三 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
浦潮政權ト張作霖政權トノ同盟構想
ニ関スルメルクーロフノ談話報告ノ……………四三六

一五 三四五 十月十五日 二六九 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
浦潮政權ノ要人亡命ヲ図リツツアリ
政情赤ニ傾ク形勢ノ旨報告ノ件……………四三六

一八 六二二 十月十五日 二六六 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
退シ防衛線ヲ南下セシメン情勢ニ付……………七二八
報告ノ件

一六 五七七 十月十六日 一 在瑞典國知公使(芬蘭國兼轄)
ヨリ
居ル旨ノ波蘭方面ヨリノ報道ニ付報……………六八八
告ノ件

一八 六二二 十月十六日 二七〇 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
在浦潮英米領事ハ赤軍司令部ト連絡
セントシ其下相談ニ松村総領事ヲ誘
引ノ件……………七二八

一八 六二三 十月十六日 二八〇 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
ジトリックス將軍赤軍ノ襲來ニ備ヘ
浦潮ノ婦女等ノ保護方ニ付英米領事……………七二九
館ニ相談ノ件

一九 六八四 十月十六日 在在本邦米國大使ヨリ
内田外務大臣宛
聯合國ノ鉄道監理協定ノ廃止ニ関シ
仏國政府ヨリ同意ノ旨回答アリシニ……………七九八
付採ルベキ共同措置ヲ提案ノ件

一五 三四六 十月十七日 二八五 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
反過激派軍將校ノ家族ノ国外脱出ニ
對シ日本側ノ便宜ヲ得度旨ジトリク……………四三六
スヨリノ要請ニ付報告ノ件

一五 三四七 十月十七日 三二八 在浦潮松村総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
ジトリクス近クボッシュトニ引揚グ
ルニ付部下將卒ノ家族約六千名ノ保
護給養ヲ英米領事ニ依頼ノ件……………四三七

一八 六二四 十月十七日 二八八 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
浦潮市会ハ市ノ秩序維持ヲ各國領事
團ニ依頼スルコトヲ決定シ各國領事……………七三〇
ニ陳情ノ手筈ナル旨報告ノ件

三 四六 十月十八日 公三五 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛
加州外國人土地法違反トシテ有罪判
決ヲ受ケタル伊賀田控訴ノ件……………六一

一〇 二二八 十月十八日 通移機密
一七 内田外務大臣ヨリ
在英國林大使宛
クウインストランド州ニ於ケル日本人
労働者雇傭制限問題ニ関シ英國政府……………二八〇
ノ注意喚起方訓令ノ件

附屬書 本件履備制限問題ノ梗概

二八一

一五 三四八 十月十八日 二九二 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 反過激派軍將校ノ家族ノ国外脱出ニ
関シ我方ノ採リツツアル措置ニ付報
告ノ件 四三八

一八 六二五 十月十八日 二二二 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長ヨリ 赤軍浦潮入市後ノ秩序維持及居留民
保護ニ付英米領事等ト連絡ヲ保チ赤
軍側代表者ノ了解ヲ遂ゲ置ク様訓令
ノ件 七三〇

一八 六二六 十月十八日 二九五 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 赤軍ハ日本軍ニ一戦ヲ挑ムベシトノ
情報ニ鑑ミ先方ノ態度ヲ確認スル措
置ヲ執ル様軍司令官ヨリ依頼アリタ
ル件 七三一

一三 二七六 十月二十日 六一六 在英国外林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 英米仏等ガ裏面ニ於テ勞農露國ト連
絡ヲ計リ利権獲得旧財産回復等ヲ画
策ニ付報告ノ件 三七二

一五 三四九 十月二十日 七〇 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 我浦潮派遣軍ノ押収軍需品引渡問題
及浦潮現政權側ノ避難希望者ニ対ス
ル取扱ニ関シ閣議決定ノ件 四三八

一五 三五〇 十月二十日 七一 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 赤軍側ガ押収武器引渡ヲ希望スル関
係上浦潮入市ヲモ希望スル場合ノ措
置ニ付訓令ノ件 四三九

一八 六二七 十月二十日 六七 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 齊多代表オザルニンニ対シ齊多軍ト
日本軍トノ衝突ヲ避クル様申入方山
内総領事ニ訓令ノ件 七三二

別電 同日内田外務大臣宛在浦潮堀政務部長宛電報第六八号
同日内田外務大臣宛在哈爾濱山内総領事宛電報第一七九号
全文電送ノ件 七三二

一八 六二八 十月二十日 閣議決定 浦潮派遣軍押収軍需品ノ処置並浦潮
現政權要人及其家族ノ避難ニ便宜供
与ニ関スル件 七三二

一八 六二九 十月二十日 六九 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 浦潮派遣軍押収品ノ処置ニ関シ訓令
ノ件 七三三

一八 六三〇 十月二十日 七〇 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 浦潮派遣軍ノ押収軍需品ノ処置等ニ
関スル閣議決定並閣議席上日本軍ト
赤軍トノ衝突回避策ニ関スル陸海軍
大臣トノ協定通報ノ件 七三四

別電 同日内田外務大臣宛堀政務部長宛第七一号
右陸海軍大臣トノ協定ニ関スル件 七三四

一八 六三一 十月二十日 公五五〇 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛 赤軍占領後ニ於ケル「ニコリスク、
ウスリースキ」市ノ状勢ニ関スル件 七三五

一五 三五一 十月二十一日 七三 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 浦潮方面ニ於ケル赤白軍ノ抗争ニ対
スル我方ノ態度ニ付訓令ノ件 四三九

一五 三三二 十月二十一日 七四 内田外務大臣ヨリ
在浦潮堀政務部長宛(電報) 白軍殘党ハ成ルベク浦潮ニ止ムルト
同時ニ彼等ガ虐待セラレザル様列國
領事ト共ニ赤側ニ対シ措置スベキ旨
ノ件 四四〇

一八 六三二 十月二十一日 三二二 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 浦潮ニ公共保安委員会設置ノ提議ニ
関シ提議者「ジャチコフ」ノ談話報
告ノ件 七三五

一八 六三三 十月二十一日 三五五 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 訓令ニ從ヒ齊多軍ト日本軍トノ衝突
ヲ避クル様オザルニンニ申入ノ件 七三七

別電 同日在哈爾濱山内総領事宛内田外務大臣宛電報第三五六号
赤衛軍司令官日本軍ト戦火ヲ交フベカラザル旨部下ヘ命令 七三七

一八	六三四	十月二十一日	チチェリン外務委員及ヤンソン外務大臣宛(電報)	日本ノ撤兵遅延及白色暴徒ノ掠奪破壊ニ対シ抗議ノ件	七三七
一七	五八五	十月二十二日	在滿洲里田中領事代理ヨリ内田外務大臣宛(電報)	齊多軍部ノ対日態度及同政府ノ日本ト交渉再開ノ意図ニ関シ報告ノ件	六九四
八	一五六	十月二十三日	局 村上農商務省水産局長ヨリ永井外務省通商局長宛	露領水産組合員ニ対スル露國側ノ不當徵稅措置ニ関シ抗議方要請ノ件	一八二
一五	三五三	十月二十三日	内田外務大臣ヨリ 在瑯春佐藤領事代理宛(電報)	ジトリクス及其部下朝鮮ニ入ラントスル場合ニ於ケル取扱振ニ付指示ノ件	四四一
一五	三五四	十月二十三日	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	白党殘徒ノ浦潮止置案ニハ各領事ヲ贊同ヲ得難キニ付軍ノ元山輸送ヲ阻シセザル旨稟申ノ件	四四一
一八	六三五	十月二十三日	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤軍又ハ赤民警ノ浦潮入市ニ関スル日本軍目下ノ態度及浦潮ノ秩序維持ノ狀況報告ノ件	七三九
一八	六三六	十月二十四日	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤軍ノ浦潮入市ノ時期ニ関シ浦潮派遣軍參謀長ト赤軍委員ト会商協定ノ件	七四〇
一九	六八五	十月二十四日	亞一機密 内田外務大臣ヨリ 在本邦米國大使宛	聯合國ノ鐵道管理協定ノ廢止ニ件ヲ共同措置ニ關スル提案ニ異議ナキ旨回答ノ件	七九九
一八	六三七	十月二十五日	浦參 一六六 陸軍大臣宛(電報)	日本軍ノ浦潮撤去無事完了ニ付報告ノ件	七四〇
一八	六三八	十月二十五日	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	齊多軍ト日本軍トノ衝突ヲ避クル様ノ我方申入ニ対シ極東共和國外相ヤンソンヨリ内田外相宛回答ノ件	七四〇
別 電 同日山内総領事發内田外務大臣宛電報第三六〇号					
右ヤンソン外相ヨリ内田外相宛回答					
一八	六三九	十月二十五日	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	二十五日日本軍浦潮撤退、赤軍入市、本邦人婦女等方一ノ危険ニ備ヘ避難船ニ避難ノ件	七四二
一五	三五五	十月二十六日	一七九 内田外務大臣ヨリ 在奉天赤塚總領事宛(電報)	浦潮引揚ノ白軍ガ張作霖ト提携シ再起ヲ計畫ストノ報道ニ関シ張ノ顧問及特務機關ノ行動監視方訓令ノ件	四四二
一八	六四〇	十月二十六日	三四二 在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ軍入市以來秩序ヲ回復シツツアル浦潮ノ狀況報告及請訓ノ件	七四二
一八	六四一	十月二十六日	三五〇 在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	二十五日午後二時日本軍浦潮出帆及同日午後三時半赤軍入市ノ狀況報告ノ件	七四三
一八	六四二	十月二十六日	三五五 在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤軍浦潮入市及市民歡迎ノ狀況報告ノ件	七四三
一四	二八五	十月二十七日	上田公使館一等書記官ヨリ 内田外務大臣宛	後藤子爵及目賀田男爵ヨリ外務大臣ニ提出對露問題ニ関スル意見ニ付考察ノ件	三八一
一八	六四三	十月二十七日	三六一 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外務大臣宛往電第三五九号ノ別電第三六一号ノ發電取止ノ件	七四四
一八	六四四	十月二十七日	三五八 在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	政務部ノ滯留及任務ニ関スル件	七四四
一八	六四五	十月二十八日	三六〇 在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤軍浦潮入市後秩序維持ノ狀況労働者ノ心境等報告ノ件	七四五
一八	六四六	十月二十八日	機密 三八五 在間島鈴木總領事ヨリ 内田外務大臣宛	露國赤軍及高麗革命團ノ行動警戒方各分館主任及署長宛通牒ノ件	七四六

附屬書 右通牒等

四	七八	十月二十九日	二〇三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	労働組合ノ加州議會ヘノ排日法案提 出意図ニ関スルシャーレンバーク談 報告ノ件	八三
一四	二八六	十月二十九日		在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛	島田副領事ノ日露交渉再開ニ関スル 談話新聞紙掲載ニ付報告ノ件	三八三
一八	六四七	十月二十九日	三六八	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノ浦潮撤兵後ノ情勢ニ付齊多政 府機関紙記者ミルキンノ島田副領事 ニ対スル談話報告ノ件	七四七
一四	二八七	十月三十日	三六九	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	北樺太利権及撤兵問題ヲ解決シ日本 トノ国交回復早期実現ノ為メ交渉ヲ 行ヒ度旨オザルニン島田ニ談話ノ件	三八三
一四	二八八	十月三十日	三七一	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	哈爾濱日々新聞磯部主筆石原通信員 帶同オザルニント交渉再開問題ニ付 意見交換ノ件	三八四
一八	六四八	十月三十日	三六六	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日露間ノ修好關係設定問題ニ付「ス ミルノフ」軍事革命委員會議長ト渡 辺領事トノ会谈報告ノ件	七四七
一九	六八六	十月三十日		在本邦米國大使ヨリ 内田外務大臣宛	連合國ノ東支鐵道監理協定ノ終結ニ 関シ米國政府ヨリ中國政府ニ交付ス ベキ公文写ヲ送付越ノ件	八〇一

十一月

一二	二六三	十一月一日	欧三公信 二五八	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	叛將ムルギア捕虜トナリ銃殺セラレ タル件	三五五
一八	六四九	十一月一日	三六八	在浦潮堀政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	沿海軍軍事革命委員會ノ行政機構改 革及國民革命軍總司令官「ウボレウ イチ」ノ指令報告ノ件	七四九
一九	六八七	十一月一日		外務省公表	東支及西伯利橫断鐵道連合國監督事 務終了並對華申入ノ件	八〇三
一二	二六四	十一月三日	欧三公信 二六二	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	叛將故ムルギアノ後継者ニ関スル件	三六三
一七	五八六	十一月三日	三七六	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	沿海州方面時局ノ状態報告並チタ政 府ト協約關係樹立ノ為我方ノ執ルベ キ措置ニ付意見稟申ノ件	六九五
一七	五八七	十一月三日	五三六	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ソヴィエト人民代表者會議ガ極東共 和國ヲ莫斯科ノ直接権力下ニ置クコ トヲ決定ノ旨英紙報道ノ件	六九六
一八	六五〇	十一月三日	三四五	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(郵送電報)	浦潮ニ進駐セシ齊多軍司令官「ウボ レウイチ」ノ杉野領事ニ対スル談 話報告ノ件	七四九
一八	六五一	十一月三日	三四八	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(郵送電報)	極東共和国軍浦潮入市後ノ市内秩序 維持ノ状況等報告ノ件	七五〇
七	九九	十一月四日	通総機密 二〇	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛	日英関稅協定修正ニ関スル參考資料 送付ノ件	一四
一四	二八九	十一月五日	三八八	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オザルニンガ島田ニ対シ極東共和国 近ク勞農政府ニ併合ノコト及ヨッフ エト打合ノ為近ク北京ヘ出張ノコト 等内話ノ件	三八五

附記 十一月七日在ハルビン石原通信員発松平欧米局長宛電報
在中國日本公使館ヘヨッフエト接触ノ必要アル旨進言ノ件……………三八六

一九六八八 十一月五日 三八七 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………八〇四

八一五七 十一月六日 局 二五三七 村上農商務省水産局長ヨリ
永井外務省通商局長宛……………一八二

一八六五二 十一月六日 三八四 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………七五一

二一七 十一月七日 三二 内田外務大臣ヨリ
在シアトル斎藤領事宛(電報)……………二五

九二〇三 十一月八日 六四 在オタワ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二四八

一四二九〇 十一月八日 一九一 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)……………三八六

二一八 十一月九日 機密公 四三 在シアトル斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛……………二五

附屬書 帰化訴訟ノ經過……………二五

附記一 大正十年十月二十七日内田外務大臣発斎藤領事宛電報第……………二八
五三三
二 大正十年十一月三日佐藤領事代理発内田外務大臣宛電報……………二八
第一四三三

一八六五三 十一月十日 五八二 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)……………七五一

一九六八九 十一月十日 亜一普通 一五五 内田外務大臣ヨリ
在本邦米國大使宛……………八〇五

附屬書 十月三十一日附在中國小幡公使ヨリ顧中国外交総長宛公文……………八〇六

八一五八 十一月十一日 通商普通 二〇一三 永井外務省通商局長ヨリ
村上農商務省水産局長宛……………一八三

一四二九一 十一月十一日 三九五 在浦潮堀政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三八七

二一九 十一月十三日 七三四 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二八

二二〇 十一月十三日 七三六 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二八

二二二 十一月十三日 七三七 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三〇

附記 在米本邦人ノ帰化権ニ関スル合衆国大審院判決ノ影響……………三一

二二二 十一月十四日 機密公 四四 在シアトル斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛……………三二

附屬書 右報告書……………三三

一五 三五六 十一月十五日 二七〇 内田外務大臣ヨリ 在蒲瀬松村総領事宛(電報)

元山滯留中ノ白軍殘党蒲瀬ニ帰還ノ 場合其安全ヲ軍事革命委員会ヲシテ 保障セシムル様尽力方訓令ノ件 …… 四四二

一五 三五七 十一月十六日 五二二 在間島鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

赤軍側ハ滿洲ニ入りタル白軍及避難 民ノ帰国スル者ニ危害ヲ加ヘザルコ トヲ声明シタル件 …… 四四三

一五 三五八 十一月十六日 四三六 在奉天赤塚総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

滿洲及朝鮮ニ避難セル露国人ヲ本国 ニ帰還セシムル為ノ中国側ノ措置振 ニ付報告ノ件 …… 四四三

一七 五八八 十一月十六日 八〇 在滿洲里田中領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

極東共和国政府ハ全政權ヲ議會ニ移 ス旨ヲ宣言シ議會ハ極東革命委員会 組織ヲ可決ノ件 …… 六九六

二 二二三 十一月十七日 公四二〇 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛

米國大審院ノ小沢及山下帰化訴訟判 決文送付ノ件 …… 三六六

附屬書 右判決文

三六

一七 五八九 十一月十七日 四一一 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

チタ国民公会ハ極東共和国ノ勞農露 國ヘノ合併ヲ決議ノ件 …… 六九七

三 四七 十一月十八日 九二 在シアトル斎藤領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

合衆國大審院ニ於ケル華盛頓州土地 法試訴ノ原告側主張要點報告ノ件 …… 六二

別電 同日在シアトル斎藤領事宛内田外務大臣宛電報第九三三号

六二

右要点

一七 五九〇 十一月十八日 公六三九 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛

極東共和国ノ廃止其勞農露國ヘノ合 併理由ニ関スルヤンソン外相ノ演説 大要訳報ノ件 …… 六九七

一四 二九二 十一月十九日 四二二 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

北京ヨリ帰来ノオザルニンガ日露會 議再開東支鐵道問題等ニ関シ島田ニ 為セル内話報告ノ件 …… 三八八

一二 二六五 十一月二十一日 五五 在墨國古谷公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

墨國憲法問題ニ関スル米國側ノ批判 的申入ニ對シ墨國側ハ自國ノ立法ニ 外國ノ干渉ヲ有サザル旨回答セル趣 ヲ墨國議會ニ公表ノ件 …… 三六四

一二 二六六 十一月二十一日 五六 在墨國古谷公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

米國代理大使ノ對墨覺書問題ニ関ス ル新聞紙論說要旨報告ノ件 …… 三六四

一二 二六七 十一月二十一日 五七 在墨國古谷公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

米國代理大使ノ對墨覺書問題ニ関シ 墨國外務省公表ノ件 …… 三六五

三 四八 十一月二十二日 九四 在シアトル斎藤領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

華盛頓州土地法試訴ノ弁論開始無期 延期ノ件 …… 六三

九 二〇四 十一月二十二日 二五 在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヲリ 内田外務大臣宛(電報)

カナダ在留日本人登録ノキング首相 案ニ反對ノ意見稟申ノ件 …… 二四九

九 二〇五 十一月二十二日 六五 在オタワ太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

カナダ在留日本人登録ノキング首相 案ニ異議ヲ挾マザル方得策ナルベキ 旨稟申ノ件 …… 二五〇

一四 二九三 十一月二十二日 高親 五七三八 井上大阪府知事ヨリ 永井外務省通商局長等宛

日露通商条約ノ締結ニ付大阪日露貿 易協會ヨリ陳情ノ件 …… 三八九

一三 二七七 十一月二十三日 二九五 在獨国日置大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

勞農露國ハ近ク聯邦組織ヲ廢止スト ノ情報ニ付報告ノ件 …… 三七三

一一 二四三 十一月二十四日 書三七 一宮横浜正金銀行副頭取ヨリ 永井通商局長宛

伯國本邦移民ニ對スル長期低利資金 融通ニ関スル現地調査ノ結果報告ノ 件 …… 三二五

一三 二七八 十一月二十四日 一五四 在波蘭國川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

勞農露國ノ連合共和国制ノ改造運動 ノ最近ノ動向ニ関シ報告ノ件 …… 三七四

八 一五九 十一月二十五日 通監普通 一五四一 村上農商務省水産局長、永井 外務省通商局長ヨリ 酒井露領水産組合組長宛

明年度漁区開設願書ノ作成ニ當リ自 治出漁期間ノ取扱指示ノ件 …… 一八三

一八 六五四 十一月二十五日 三八五 在滿洲松村總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

赤軍治下ノニコリスクノ状況杉野領
事ヨリ報告ノ件……………七五二

一三 二七九 十一月二十七日 二九二 在瑞典国畑公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露国ノ米國資本誘入ノ運動ニ関
シ報告ノ件……………三七五

六 九一 十一月二十八日 機密公
五二 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

日米有志懇談会第九回会合ニ於ケル
布哇耕主側意見報告並日本移民禁止
方法討議ノ件……………一〇三

一四 二九四 十一月二十九日 四三八 在ハルビン山内總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

樺太北滿駐兵ニ関スル露国側覚書ニ
對スル日本政府ノ態度ニ付哈爾濱新
聞論評ノ件……………三九一

一四 二九五 十一月二十九日 四四〇 在ハルビン山内總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オザルニンガヨッフエト意見合ハザ
ル為ハ爾濱ヲ去ルコト等島田ヘ内話
報告ノ件……………三九一

一一 二四四 十一月三十日 三四 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田總領事宛
(電報)

低利資金融通ハ実行困難ナリトノ正
金側ノ見解ニ對スル意見申越方訓電
ノ件……………三二七

一八 六五五 十一月三十日 公六七〇 在ハルビン山内總領事ヨリ
内田外務大臣宛

前極東共和国外務省内ニ設置セラレ
タル日本ノ武力干渉ニ基ク損害調査
委員會ノ調査結果ニ関スル件……………七五五

十二月

一一 二四五 十二月二日 三〇 在サンパウロ藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

低利資金融通ニ関スル現地側意見回
電ノ件……………三二七

一八 六五六 十二月二日 公一四三 在滿洲里田中領事代理ヨリ
内田外務大臣宛

元極東共和国外務省内中央委員會発
表ノ各地ニ於ケル日本駐兵ノ為蒙レ
ル損害高ニ付報告ノ件……………七五五

三 四九 十二月五日 機密公
四九 在シアトル斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛

排外土地法中ノ信託讓渡契約ノ効力
ニ関スル華盛頓州大審院判決ニ付報
告ノ件……………六三

四 六五 十二月六日 通移機密
公二四八 在桑港矢田總領事
山領事

加州日本学童隔離法実施以後ノ教育
状況査報方訓令ノ件……………七六

四 六六 十二月六日 通移機密
合二四九 在桑港矢田總領事
山領事

加州外国語学校取締法実施後ノ一般
現況及將來ノ見込等ニ付詳細調査方
訓令ノ件……………七六

九 二〇六 十二月八日 一一 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァアト斎藤領事
宛(電報)

キング首相提案ノ邦人登録案ニ同意
シ難キ旨首相ヘ回答方在オタワ總領
事ヘ訓令ノ件……………二五一

附記一 本件電信案ニ添附ノ四統計表……………二五三
二 キング首相ノ提案對策……………二五六

八 一六〇 十二月十日 八五 在滿洲里田中領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

太平洋沿岸及カムチャツカ地方ノ經
済開發資金ニ漁区租借料ヲ充當スヘ
シトノ「プーチ」紙論說大要報告ノ件……………一八四

一一 二四六 十二月十一日 三五 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田總領事宛
(電報)

サンパウロ州珈琲耕地行移民ニ對ス
ル補助契約復活運動推進方ノ件……………三二八

一一 二四七 十二月十二日 三二 在サンパウロ藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

サンパウロ州珈琲耕地行移民ニ對ス
ル補助契約復活運動ニ関シ意見稟申
ノ件……………三二八

一五	三五九	十二月十二日	高秘 澤田福岡県知事ヨリ 水野内務、内田外務及指定庁 府県長官宛	病氣保養ノ為セメヨノフ將軍渡来ニ 関スル件	四四四
九	二〇七	十二月十三日	公三三五 在ヴァンクローヴァー齋藤領事 ヨリ	英國枢密院ニ上告ノB・C州閣令確 認法事件ノ審問開始及上告側主張ノ 要旨報告ノ件	二五八
三	五〇	十二月十四日	通移機密 一三 内田外務大臣ヨリ 在シアトル齋藤領事宛	華盛頓州土地法実施以來ノ本邦人ノ 該法違反トシテ起訴セラレタル事件 ニ付査報方訓令ノ件	六五
四	六二	十二月十四日	戊警保発 二四〇 安河内神奈川県知事ヨリ 永井通商局長宛	布哇行写真結婚婦人渡航許可時ノ読 書力調査ニ付注意喚起ノ件	七五
八	一六一	十二月十四日	三〇三 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松村総領事宛(電報)	漁業問題ニ関シ新漁業長官ニ申入方 訓令ノ件	一八四
八	一六二	十二月十五日	通監普通 合二五七 永井外務省通商局長ヨリ 村上農商務省水産局長、酒井 露領水産組合組長宛	明年度漁業ニ関スル露国側意向報告 ノ件	一八五
一四	二九六	十二月十五日	内田外務大臣 貴族院公正会代表者「会谈	貴族院公正会代表者ニ対シ日露間ノ 諸問題等ニ対スル我方ノ方針ヲ内田 外相ヨリ説明ノ件	三九二
一	一一二	十二月十六日	七九五 在米國佐分利臨時代理大使ヨ リ	帰化権無キ外国人ノ入國禁止ノ移民 法案ニ関シ近ク國務省ノ注意ヲ喚起 スル積ナル旨報告ノ件	二二
八	一六三	十二月十七日	四一六 在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	漁業問題ニ関シ新漁業長官ニ申入レ タル旨報告ノ件	一八五
八	一六四	十二月十八日	発一五九 露領水産組合ヨリ 通商局監理課宛	極東漁業問題ノ至急解決ヲ論ゼル 「ゴロロス、ロジスマイ」紙記事送 付ノ件	一八六
八	一六五	十二月十九日	通監機密 一六八 外務省通商局長ヨリ 農商務省水産局長宛	漁業問題ニ関シ露国ト交渉開始方ノ 件	一八九
八	一六六	十二月十九日	通監機密 一六九 外務省通商局長ヨリ 農商務省水産局長宛	来年度露領漁業ニ関スル露国側方針 近ク決定アルベキ旨報告ノ件	一八九
一	一三	十二月二十日	二三七 在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日米懇談会席上ニ於テジョンソン移 民制限法案ハ原案ノ儘ニテハ通過ノ 見込無キ旨シャーレンベルグ声明ノ 件	二二
三	五一	十二月二十日	通移機密 二三 内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田總領事宛	日本人ノ加州土地法違反訴訟事件ニ 付調査報告方訓令ノ件	六五
三	五二	十二月二十日	通移機密 一四 内田外務大臣ヨリ 在ロス・アンゼルス大山領事 宛	日本人ノ加州土地法違反訴訟事件ニ 付調査報告方訓令ノ件	六九
六	九二	十二月二十日	機密公 五三 在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	日米有志懇談会第十回会合ニ於テ日 本人問題解決ハ条約ヲ以テスルヲ最 善トスルニ意見一致ノ件	一〇五
九	二〇八	十二月二十日	七〇 在オタワ太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本人登録ノキング首相案ニ同意シ 難キ旨同首相ニ申入ノ件	二五九
三	五三	十二月二十一日	二三八 在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	合衆国大審院ニ提起中ノ土地法中借 地権訴訟ニ関シ在米日会顧問エリオ ットノ意見ヲ在シアトル領事ヘ転達 ノ件	七〇
一	一四	十二月二十二日	八二三 在米國佐分利臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	米國議會ニ於テ開始セラレタル聴問 会ハ近東諸國避難民ノ入米ニ関スル 趣ナル旨報告ノ件	二三

八	一六七	十二月二十二日	四三二	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	漁業問題ニ関シ県国民経済委員会長 ト会谈ノ結果報告ノ件	一九〇
八	一六八	十二月二十三日	通監普通 合二六五二	外務省通商局長ヨリ 農商務省水産局長、酒井露領 水産組合組長各宛	露領ニ於ケル利権ニ関スル極東革命 委員会ノ決定ニ付通報ノ件	一九〇
一四	二九七	十二月二十三日		附屬書 在浦潮松村総領事ノ入手セル右決定等	日露通商条約締結促進ニ関スル建議 ノ件	一九一
九	二〇九	十二月二十六日	二七	内田外務大臣ヨリ 在オタワ太田総領事宛(電報)	カナダ渡航及帰国移民累年比較表電 報ノ件	二六〇
八	一六九	十二月二十七日	四三八	在浦潮松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	来年度露領沿岸漁区競売ニ関スル露 国側方針ニ付報告ノ件	一九二
二	二四	十二月二十八日	通移機密 二五	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛	佐藤市造戦時帰化訴訟事件ノ現況取 調方訓令ノ件	四八
一〇	二二九	十二月二十九日	機密公 二〇	在シドニー鈴木総領事ヨリ 内田外務大臣宛	邦人ノ土地買収ニ関スル新聞記事ト 之ガ聯邦議員選挙運動ニ利用セラレ タル経緯ニ付報告ノ件	二八二

日本外交文書
大正十一年第一冊
(大正期第三十三冊)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
1922 Volume I

昭和五十一年三月十日 印刷
昭和五十一年三月二十日 発行

外務省 編纂
外務省 発行

第一法規出版株式会社

107 東京都港区南青山二丁目一一一七